

# PERSPIRATION



2008 年度

茨城大学陸上競技部 部誌

第 3 号

## 目 次

巻頭言 「走ることの痛みと喜びを超える」……………茨城大学名誉教授（元陸上競技部部長） 野田洋平	
I. 2008 年度シーズンを振り返って……………	1
II. 2008 年度活動報告……………	4
i) 大会後記……………	5
関東インカレ／千葉対校／関東甲信越体育大会／日本インカレ／国公立 23 大学対校／ 北関東五大学対校／国公立 23 大学対校駅伝／三浜駅伝／荒川駅伝／勝田全国マラソン	
ii) その他競技会……………	15
茨城県選手権／関東選手権／その他	
iii) その他の活動……………	16
審判、補助員／宇都宮大学合同合宿	
III. 2009 年度シーズンの抱負……………	17
IV. 2009 年度活動予定……………	20
V. 卒業生より……………	20
VI. OB/OG 近況報告・現役部員へのメッセージ……………	25
VII. 記録集……………	30
茨城大学記録・男子／茨城大学記録・女子／2008 年度ランキング／対校戦順位一覧	
VIII. 部員名簿……………	34
編集後記・連絡先……………	35

## 走ることの痛みと喜びを超える

梅の花が咲く頃になると、啓蟄ではないけれど走り虫がざわざわ騒ぎ出す。冬の間のオフシーズン、この期の練習の成果を、早く問い掛けたいという気持ちが高まり、居ても立っても居られない気持ちが高まる。その反面、練習は十分だったろうかという過ぎたことへの悔恨の情の渦も大きく広がる。

不安や自信を複合的に交叉させながら、不安を消し、自信を大きくしていくストレスに正面から向き合うのは容易ではない。押しつぶされるような不安の痛みは、心ばかりでなく身体のコアを崩し始めたりする。押しつぶす力は小さい力で大きな圧力になる。しかし、跳ね返す力はその何倍もの力を必要とする。修復する行為は初期努力をはるかに超える闘いをしなければならない。

この時期気持ちの持ち様は、押しつぶす力と対抗する力のせめぎ合い、発生する痛みとの闘いでもある。

桜の花が咲き、浮き立つ気持は、初めてのレースに挑む。初レースまでの重圧は、花を忘れ、その存在すら目に入らない一途な気持。結果は自分の練習内容と気持ちの昂ぶりと冷静さに左右される。そこに待っているのは反省。勝っても負けても、自分を表現できても出来なくても、冷静な目は透徹した事実を振り返る。花のうきうき度に惑わされて足腰が浮ついているレースであったか、練習の成果が確実にレースで試された結果だったか、自分の冷静な状況判断を評価基準としなければならない。

試合が進むに従い、繰り返し反芻される経過努力と結果の見直し。技術、体力、戦術、トレーニング、日常生活、アスリートとしての心構え・意欲や努力それら全てを俎上に載せ、巧みにそして鋭利な包丁を使い、的確に捌いて分析しなければならない。それぞれの捌きかたに応じた適切な包丁に持ち替え、大胆に、繊細に、時には一気呵成に捌いてみるのが次へのステップアップに繋がる。痛みの部分にも鋭利な刃をいれ、喜びのコンテンツは正直に受容する。どちらか一方に偏れば、痛みは痛みになって返り、喜びは溢れる喜びから距離を置く事になり、次へのステップは期待できない。

シーズンが深まれば、思いは次の鍛錬期での強化目標、トレーニング内容の見直し、次のシーズンに向かう準備を入念にしなければならない。

シーズン中の長く、あまりにも大きい痛みや苦悩は、次のステップへの起爆剤に、儂い・瞬時の喜びは、大きく次へ向かうモチベーションへ転換させる。

昔を思い出し、振り返って様々な思いを抱いたことを披瀝した。全てが自分のことである。これからの茨城大学陸上競技部の発展を心より祈りながら。

## I. 2008 年度シーズンを振り返って

### 主将反省

前主将 山本悠輔

この1年間は、「対校戦において総合優勝を勝ち取る」ということを目標として掲げ、練習はもちろん、グラウンドの環境整備、普段の生活などに高い意識で臨むということを方針として活動してきました。

振り返ってみますと、女子はどの対校戦においても安定して戦うことができ、国公立23大学対校では総合2位を獲得、23大学対校駅伝では念願の優勝を収めるなど素晴らしい戦いができました。男子は総合優勝こそ達成できなかったものの、北関東5大学対校ではトラック優勝を果たし、今まで点が取れなかったフィールドで点を取ることができたことなど、来季につながる試合でした。

対校戦で優勝するという事は簡単なことでも、甘いものでもありません。ですが、狙わなければいつまでも達成できないものだと思います。今季総合優勝を目指して活動をし、総合優勝を狙うということがどういうことか身をもって知ることができたことはチームにとって大きなことでした。部員一人ひとりのチームや対校戦に対する考え方も変わってきたのではないかと感じています。これは大きな成長です。

主将としての仕事は一段落しましたが、経験を生かして次の代のサポートや選手としてチームに貢献するなどやりたいことがたくさんあります。これからも大好きな陸上部のために力を尽くしていきたいと思っています。

最後となりますがOB・OGの皆様をはじめ、部のために尽力してくださった皆様、1年間本当にありがとうございました。

### 主務反省

前主務 鈴木 遼

主務として活動した1年間、様々な経験を通して多くのことを学ぶことができました。特に印象的だったのは10月に主催を務めた北関東五大学対校戦です。大会前から茨大OB・OGの皆様をはじめ、茨城県陸協の方々など多くの方たちにご支援、ご協力していただき無事大会の主催を務めることができました。多くの支えがあって陸上競技を続けていくことができていることに感謝し、今後の活動を通して応えることができたらと思っています。本当にありがとうございました。

今後は次の代へと主務を引き継ぎ、4年生として部をサポートしていこうと思います。至らない点も多々あったと思いますが皆さん1年間本当にありがとうございました。

### 短距離ブロックの反省

前短距離ブロック長 山本悠輔

今季短距離ブロックは「チームの起爆剤となる」ことを目標に男子12人、女子4人のメンバーで活動してきました。

今年は関東インカレの男子マイルにおいて茨大新記録で6位入賞、女子4継で茨大新記録を更新するなど、短距離の歴史の中でもインパクトのある1年でした。多くの方々から反響をいただきとても嬉しく思います。また、個人種目でも男子200m、男子ハードル、女子200m、女子100mHなどで歴代上位の記録、他にも自己ベストを出すなど力を発揮できたと思います。

しかし、チームの起爆剤となれたかと考えるとまだまだ足りなかったと思います。昨年の反省同様、個人種目での得点はハードルがほとんどで、他の種目では勝負になっていません。チームの成績を上げるためにも、リレーでもっと上のレベルの勝負をするためにも短距離種目の戦力をもっと上げていく必要があると感じた1年でした。そのために怪我をしないことを大前提として短距離全体にもっと競争意識を持つ、一人ひとりが目標を掲げて(記録はもちろん目の前の練習の中にも)、それに見合うだけの取り組みをする必要があります。

長くなってしましますがあと少し述べさせてもらいます。今季は4年生の先輩の頑張りに刺激を受けました。忙しい環境の中にありながらもブロックに活気を与えてくれ、競技面でも陸上が好き、速くなりたいという確固たる気持ちがあればやれるのだと示してくれました。本当にお疲れ様でした。

私たちはこれからも「強い短距離」を目指して一丸となって頑張っていきます。1年間ありがとうございました。

## 中長距離ブロック長の反省

### 前中長距離ブロック長 蓮田大樹

ふりかえてみると、やっぱり1年間の中にはいろいろなことがあったと思います。2008年度は、新入生が入ってきて、大学院生が残ってくれて、男子全員合わせて15人で活動してきました。シーズンの結果を見れば、関東選手権や国公立23大学対校戦で上位入賞するなどすばらしいものもあれば、例年よりも成績をおとししてしまうものもありました。ただ、競技結果でチームに貢献できたのは、いつも決まっているほんの数人にとどまってしまったこと、自分自身のなかで一つの大きな目標でもあったチームの底上げがうまく果たせなかったことの2つは、はっきり課題のまま残ってしまいました。

あとは、故障者が目立った年にも感じます。特に、シーズン中の故障の厄介さはみんな身にしみたところですし、これも来年の一つの課題です。

本当にいろいろありました。もしかしたら、良いことよりも、あまり良くないことの方が多かったかもしれません。しかし、一人一人の力が全然ついてきていないわけでも、一人一人が頑張っていないわけでもないのは確かなので、そんな良いこと悪いこと一つ一つの経験を無駄にしてしまうか、最大限生かせるかというところに中長男子のこれからがかかってくるのだと思っています。

## 跳躍ブロックの反省

### 前跳躍ブロック長 森あゆ美

今年度は新たに、男子1名・女子1名の新入部員が跳躍ブロックに加わり活動してきました。人数の少ない男子フィールドが増えたのでとても嬉しく思います。

競技内容を振り返ると皆ベストの跳躍、ベストに近い跳躍ができていたと思います。今年度の陸上部の目標として対校戦での総合優勝を挙げていたので、確実に取る点数はしっかりとおさえ、頑張れば取れる点数もしっかり狙うよう試合に取り組んでいました。後は、やはり跳躍男子の活躍がもっと欲しいところです。まだ経験が浅いので、大学4年間を通してしっかりつくり上げられれば良いと思います。

昨年ブロック長を引き継ぎ、いよいよ私たち3年生が跳躍ブロックを引っ張っていかなければならなくなり、始めは不安なところも多々ありました。ですが皆の協力もあり、練習も試合もとても充実した内容でできたと思います。そこは跳躍ブロックの持ち前の明るさを活かし、日々の練習では辛いときも互いに励まし・刺激し合いながら出来たからだと思います。

私は自分の陸上競技への取り組みの姿勢として、常にどんな練習、試合であっても楽しく取り組むと決めています。嫌々やる事は自分の身にならないし、周りにもいい影響を与えません。せっかくやっているのだから、誰かにやらされているわけでもないのだから楽しくやって今やっている事を100%自分のものにしてほしいのです。跳躍ブロックにはこの気持で活動してほしいだったので、私はここを意識してブロック長をやってきました。特に言葉にしてこの事を伝えてきたわけではないですが、跳躍ブロックが意識高く活動出来ていたの伝わっていたのかなと思います。

こんなブロック長でしたが1年間支えてくださってありがとうございました。来年も頑張っていきたいと思います。

## 投擲ブロックの反省

### 前投擲ブロック長 二見有紀乃

20年度投擲ブロックは、関カレでのハンマー姉妹ダブル入賞で、幸先の良いスタートが切れました。1年生に城所を加え3人での活動となり、賑やかに、そしてお互い指摘や刺激し合って、非常に良い雰囲気での活動が出来ました。

千葉対校や関甲信、23大等の対校戦では、チームの得点源として、常にチームを引っ張っていくという自覚とそれぞれの目標をしっかり持って戦えたと思います。ただ、城所は年間を通して技術に安定性がなく、筋力や体重も高校時の状態に戻せず、弓削は夏の大事な時期（関選、全カレ）に技術を崩し、自分自身も、得点源として出場したサブ種目の円盤では失敗を重ね、全カレでは決勝でベスト8に残ることが出来ず、まだまだトップで戦っていくには今のままでは駄目だと、自分自身の、そしてブロック全体の結果からも感じました。それぞれが「何をすべきなのか」ということはしっかりわかっているのだから、弓削にブロック長を引き継いだ今、弓削を中心にやるべきことをしっかり行い、また、全体を見渡し、ブロック長をサポートすることがこれからの自分の仕事だと思うので、約3年間のブロック長の経験を少しでも今後活かせるようにしていきたいと思っています。

今までブロック長として共に活動してきた先輩方、同期のみんな、そして上地先生、お世話になり、本当にありがとうございました。…そして、これからもよろしくお願ひします♪

## マネージャーブロックの反省

前マネージャーブロック長 鈴木晴香

今年度、マネージャーブロックは念願の新1年生を迎え、4人で活動してきました。4人と言っても全員がそろって練習に参加できる事はほとんどなく、普段の活動は少ない人数で行うものになってしまいました。

しかし、その限られた人数の中でいかに良い仕事ができるかということを考え、仕事内容の質の更なる向上を目指してきました。選手1人ひとりにとってそれぞれ必要なサポートを行う事はもちろん、自分達が効率良く動くにはどうすれば良いかを話し合い実行してきたつもりです。また、選手との普段のコミュニケーションを心掛けて、信頼関係を築いたり、少しでも多くのニーズを取り入れたいとしてきました。これらを意識する事によって、今までのやり方にプラスαができた部分もあったのではないかと思います。

逆に、日々の練習の中で行う当たり前の事が雑になってしまっていた事もあった、という点が反省にあげられます。いつも行う事こそ大切に、その意味を考えながら丁寧に行うという事の難しさを感じることができました。

マネージャー1人ひとりによって様々な視点があります。しかし、マネージャーの誰もが「この陸上部のために、選手のために何かしたい!!」と考えている事には変わりはありません。これからもそのような思いを持ち続けていけるブロックであると共に、それぞれの視点を生かした多面的なサポートをしていきたいと思います。

マネージャーとして、皆さんを支える立場でありながら逆に支えられ、助けられる事が何度もありました。また、ブロック内のメンバーにもたくさん支えられて1年間ブロック長を務める事ができました。本当にありがとうございました。新年度も更に充実した1年になるようにブロック皆で頑張っていきたいと思います。

## 中長女子パートの反省

前中長女子パート長 鶴見 彩

今シーズンは『全員関カレ標準突破!』を「最低目標」にかかげ、昨シーズン同様5人で活動してきました。残念ながらパート長である自分だけが標準を切ることができませんでしたが、今年の中長女子はさらにレベルアップできたと思います。

4人5種目(マイル、800、1500、5000、10000)での関カレ出場から始まり、野田の全カレ出場。対校戦での安定した上位入賞。そして、念願の23大駅伝優勝と大会新での荒川駅伝優勝。茨城大学中長女子の歴史に残る1年であったと言っても過言ではないと思います。

この1年をパート長として務めさせてもらえたこと、とても嬉しく思っています。私はメンバーのためにたいしたことはできず、パート長として反省点ばかりが残りました。しかし、中長女子パートとしてはこのような結果を残すことができ、評価できる1年であったと思っています。バラバラな感じは相変わらずでしたが…1人1人の意識は高く、それぞれがしっかり取り組んでいました。これが中長女子の一番いい状態だったのかなとも思います。バラバラでも向いている方向は同じだったから…ね!!

良かったことばかりあげてしまいましたが、満足も安心もしていません。4年生が抜けた今後、更なるレベルアップが必要となります。気持ち新たにがんばりたいと思います。1年間ありがとうございました。

## ハードルパートの反省

前ハードルパート長 後藤雅彦

ハードルパートは、今シーズンから発足されたパートです。発足理由は、関カレ標準を切るメンバーがそろっていたこと、より専門性の高い練習を行い、レベルを上げていこうとする意識が出てきたからです。

パートは全員で4人と少ないですが、対校戦などで独自に目標点数を掲げレースに挑み、部の得点源の中心となって盛り上げてきました。

パートのみんなは、ハードルに対する意識は高く、食欲に順位やタイムを狙ってゆく姿勢がとても出ていたと思います。来シーズンからは今年以上に専門的なメニューを組んでゆくので、更なる記録や意識の向上してくれることを期待しています。

人数は少ないですが、部を盛り上げてゆくように頑張ってください！！

## 日立ブロックの反省

前日立ブロック長 手倉森洋人

今年度から日立の位置づけというのをはっきりさせるために日立ブロックという新しいポジションを作り、やってきました。いままでも水戸と日立でそれぞれしっかりやってきてはいましたが、どことなく、水戸中心で物事が決まっているような印象がありました。しかし、部員のほとんどが集まっているのが水戸であり、また少人数で距離が離れている日立は全体集合のある水曜日と土曜日にしか水戸と会うことができない。などしょうがない面も多々あったと思います（日立からのアクションが少なかったということもあるとは思いますが…）。とりあえずそんなこともあり、しっかり水戸と連携をとることと、少人数だけど水戸に負けないという気持ちで一年間やってきました。

ただ、振り返ってみるとそんなに簡単にはいかず県選手権の始めは水戸と日立で試合にのぞむ意気込みにだいぶ、熱の差があったように思います。他にも日立だけの問題として、学科がそれぞれ違うということも影響しているのですが、特に後期に関して集合時間がうやむやになっていました。しかし、その中でもそれぞれが空いた時間などに練習をし、対校戦の得点にからむ成績を出した人もでたのは、日立もしっかりやっているというところを見せる上で素直に良かったと感じています。

結果として自分の責任で反省点の多い一年でしたが、反省点が多いということは逆に更に良くすることができますし、ブロック長という立場を退いたからこそ気づけることが何かきっとあるはずです。来年度は短距離ブロックが増え、更に4年生と院2の方が多しなど今年よりも大変なことになるかもしれません。が、自分も反省点などを踏まえたうえで次の日立ブロック長に任せけるのではなく、しっかりサポートをして日立ブロックをより良いものにできたらと思っています。一年間、本当にありがとうございました。

## II. 2008 年度活動報告

### 2008 年度活動内容

日程	競技会名	場所
05/ 17-18 24-25	第 87 回関東学生陸上競技対校選手権大会（関東インカレ）	国立競技場， 日本大学
06/06-08	日本学生陸上競技個人選手権大会	平塚（神奈川）， 東海大学
06/26-29	日本陸上競技選手権大会	等々力（神奈川）
07/04-06	茨城県陸上選手権大会	笠松
08/09	茨城県陸上競技国体予選	笠松
08/10	第 43 回茨城大学千葉大学対校陸上競技定期戦	千葉県総合（千葉）
08/22-24	第 81 回関東陸上競技選手権大会	笠松
08/26-27	第 57 回関東甲信越大学体育大会	熊谷（埼玉）
09/12-14	第 77 回日本学生陸上競技対校選手権大会（日本インカレ）	国立競技場， 代々木公園
09/20-21	第 19 回関東学生新人陸上競技選手権大会	国立競技場
09/26-28	第 23 回国公立 23 大学対校陸上競技大会	草薙（静岡）
10/03-07	国民体育大会	九州石油（大分）
10/12	関東学連秋季オープン競技会	国立競技場
10/25	第 59 回北関東 5 大学対校陸上競技大会（主催）	笠松
11/24	第 7 回国公立 23 大学対校駅伝大会	昭和記念公園
12/07	三浜駅伝	ひたちなか
12/21	第 9 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会	荒川河川敷
12/25-27	宇都宮大学合同合宿	笠松
2008/01/25	第 57 回勝田全国マラソン	ひたちなか
03/02-06	春合宿	高崎（群馬）
03/29	楮川駅伝	楮川ダム（水戸）

## i) 大会後記

### 第 87 回関東学生陸上競技対校選手権大会

(2008/5/17-18, 5/24-25: 国立競技場、ハンマー投: 日大)

シーズンの序盤の大きなビッグイベントであり、最初の対校戦、今後の勢いを占う意味でこの関東インカレの持つ意味は、色々な捉え方があるにしても大きい。

出場した選手たちは思う存分国立の地で力を発揮した。特に男子 4×400mR、女子 4×100mR でそれぞれ茨大記録を塗り替えた。男子 4×400mR は 6 位入賞も果たし、近年にない快挙を成した。また、女子ハンマー姉妹揃っての入賞が大きく印象的だった。入学して間もないものの、出場した 1 年生も堂々と競技をし、盛り上げてくれた。茨城大学からの出場種目、および結果は以下の表の通りである。

今回出場した人もしなかった人もそれぞれ何かを掴め、沢山刺激を受けることが出来た大会だった。この大会を通し間違いなく、結束が深められ、次の対校戦へ向けての良い流れを作る事が出来た。(文責: 和田和幸)

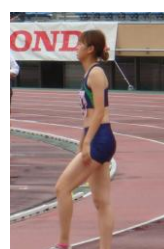
種目	記録	氏名	備考
男子 4×100mR 予選	42.14	後藤-和田-山本-上杉	
男子 4×400mR 予選	3.16.60	開-上杉-山本-和田	
男子 4×400mR 決勝	3.14.40	開-上杉-山本-和田	6 位,茨大新
男子 200m 予選	22.62(-2.9)	和田 和幸	
男子 400m 予選	49.96	開 隆之	
男子 800m 予選	2.02.93	吉田 佑	
男子 1500m 予選	4.00.50	秋山 陽祐	
男子 ハーフマラソン 決勝	1.09.27	秋山 陽祐	
男子 110mH 予選	15.99(-1.2)	後藤 雅彦	
男子 400mH 予選	54.44	上杉 明弘	
女子 4×100mR 予選	48.34	石崎-生井-鈴木(麻)-森	茨大新
女子 4×100mR 準決勝	48.59	石崎-生井-鈴木(麻)-森	
女子 4×400mR 予選	4.07.25	吉原-鈴木(麻)-嶋田-石澤	
女子 200m 予選	26.61(-3.5)	鈴木 麻理	
女子 800m 予選	2.17.98	嶋田 絵里子	
女子 800m 予選	2.19.96	石澤 ゆかり	
女子 1500m 予選	4.54.56	寛 千佳	
女子 5000m 決勝	16.47.56	野田 春香	
女子 10000m 決勝	34.56.02	野田 春香	
女子 100mH 予選	14.84(0.0)	生井 美有	
女子 走高跳 決勝	1m65	森 あゆ美	
女子 三段跳 予選	11m29(0.0)	石崎 あゆみ	
女子 三段跳 予選	11m09(+0.9)	遠藤 園子	
女子 砲丸投 予選	11m31	城所 舞	
女子 ハンマー投 決勝	45m67	二見 有紀乃	5 位
女子 ハンマー投 決勝	44m99	弓削 真理子	6 位



男子マイルメンバー



ハンマー姉妹☆二見・弓削



森



海老原さん、いつも応援ありがとうございます♪



### 第 43 回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦

(2008/8/10 千葉県総合：千葉)

昨年度に引き続き、千葉県の総合スポーツセンターで千葉大学との定期戦が行われた。一人の選手がいくつもの種目に出場する姿は、競技を楽しんでいることを感じさせてくれる。同時に短時間で複数の競技に連続で出場する姿からは、疲労感も伝わってくる。そういう状況の中でも、自己記録を更新する者、複数の種目で優勝を果たす者がいることは、すばらしいことである。また、そのような状態であるからこそ、互いに励ましあい、応援することの大切さを気づくことができる。それも千葉対校の魅力のひとつではないだろうか。

結果では、女子が総合優勝、男子は昨年に続き優勝を逃した。どうすれば、あと一步の差を縮めることができるのか、それが今後の練習の課題として考えさせられた試合となった。

次回の千葉対校は、私たち茨城大学が主催となる。運営に関して、茨城陸協の皆さんや、OB・OGの皆さんのお力を借りることになるでしょう。日ごろお世話になっている皆さんへの感謝の気持ちをもって、運営では選手一人ひとりが安心して競技に集中できるよう、競技では粘る姿勢を、そして総合優勝を勝ち取れるよう陸上競技部全員で協力してがんばっていききたい。(文責：渡邊学)

千葉対校結果 (優勝者)

種目	記録	氏名
男子 800m	1.58.80	河野 光由
男子 1500m	4.04.06	秋山 陽祐
男子 400mH	55.17	山下 弘文
男子 4×400mR	3.22.90	茨大 A (開・上杉・山本・和田)
男子三段跳	13m18 (+0.4)	山下 弘文
女子 100m	12.67 (+0.6)	鈴木 麻里
女子 200m	26.20 (-1.1)	鈴木 麻里
女子 800m	2.20.03	嶋田絵里子
女子 1500m	4.39.77 大会新	野田 春香
女子 4×100mR	49.65	茨大 A (遠藤・生井・鈴木(麻)・森)
女子 4×400mR	4.07.73	茨大 A (吉原・石澤・嶋田・鈴木(麻))
女子走高跳	1m60	森 あゆ美
女子走幅跳	5m24 (+1.8)	森 あゆ美
女子砲丸投	11m33	城所 舞
女子円盤投	33m94	城所 舞
女子やり投	38m11	遠藤 園子



## 第 57 回関東甲信越大学体育大会

(2008/8/26-27 熊谷：埼玉)

埼玉県で開催された今年度の関甲信、大会 1 日目は猛暑を記録した熊谷とは雰囲気が違い、前日からの雨が続いていた。そんな悪天候のなかで、野田が 3000m で、森が走高跳で茨大新記録をたたき出す力強い試合を見せた。森はこの結果により、日本選手権の出場権を獲得し、その跳躍に部員皆が歓声を沸かした。2 日目、天気は一転し、熊谷の暑さを体験することとなった。しかしながら、天候による条件はどの選手にとってもみな同じ。その中で自己記録を更新した者もいれば、満足のいく試合ができなかった者もいるだろう。

全体の結果は、女子が総合 3 位、フィールドで 2 位入賞を果たした。男子においては、ハードル種目に点数を頼る結果となってしまい、上位入賞にも手が届かなかった。その点も含め、「対校戦において総合優勝を勝ち取る」という部の目標について、個人そして部として何が必要か、どうしていけば目標を達成できるのか、あらためて全員で確認する試合となった。

また今大会は、8/22～24 の 3 日間にかけて行われた関東選手権から、前日移動を含め連続した大会となった。そのため、選手・補助員にとって、陸上漬けの 6 日間を過ごすこととなった。この陸上競技に打ち込めた 6 日間は、貴重であり、疲労のなかにも楽しさがあり、幸せを感じることができたのではないだろうか。そして、陸上と向き合うことで、一人一人が得たものは大きいはずである。今後、それらを行動や結果に活かしていきたい。(文責：渡邊学)

関甲信結果 (入賞者)

種目	記録	氏名	順位等
男子 110mH	15.52 (-0.5)	後藤 雅彦	4 位
男子 400mH	54.64	上杉 明弘	3 位
	55.94	山下 弘文	5 位
男子 4×400mR	3.25.65	山下・山本・鈴木(遼)・上杉	6 位
女子 800m	2.17.01	嶋田絵里子	4 位
	2.18.19	石澤ゆかり	8 位
女子 3000m	9.55.39	野田 春香	1 位・茨大新
	10.20.63	寛 千佳	4 位
100mH	14.87 (-0.4)	生井 美有	4 位
女子 4×100mR	48.99	石崎・生井・鈴木(麻)・森	5 位
女子走高跳	1m73	森 あゆ美	1 位・茨大新
	1m50	尾崎 友美	5 位
女子砲丸投	11m25	城所 舞	2 位
	10m55	弓削真理子	3 位
	9m17	二見有紀乃	7 位
女子円盤投	35m06	城所 舞	4 位



上杉 400m H



主将・山本



石崎から生井へのバトンパス



女子総合 3 位 ☆

## 第 77 回日本学生陸上競技対校選手権大会

(2008/9/12-14 : 国立競技場, ハンマー投げ : 代々木公園陸上競技場)

9月12～14日に国立競技場と代々木公園陸上競技場(ハンマー投げ)で全日本インカレが行われた。茨城大学からは、4年次の野田、3年次の森・二見、2年次の生井・弓削の5名が出場した。生井は2日目に女子100mHに出場した。大学2年目にしてインカレ準決勝という舞台を走り、去年からの成長をみせるレースをしてくれた。ハンマー投げは1日目におこなわれた。弓削は満足のいく記録は出せず、いい試合結果ではなかった。悔しさは残るが来年に生かせるいい経験ができただろう。二見は、調子が悪くなかっただけに後一步で入賞に手が届く惜しい結果であった。しかし彼女は決勝に進出するレベルまで実力をあげ確実に成長した。二人には実力をさらにつけ来シーズン全国レベルで健闘することを期待したい。森は三日目に女子走高跳に出場した。自分らしい跳躍をするために助走を変えてのぞんだ。助走への不安があった中、周りの応援を受け、日本インカレ6位というすばらしい成績を果した。茨城大学から入賞者が出たことは部員全員の励みになり刺激となったことだろう。来年はもっとすばらしい跳躍を見せてくれるはずだ。野田は、1日目に10000m、三日目に5000mと大学4年目にして2種目の出場を果たした。集大成ともいえる力強いレースだった。2種目出場は容易なことではない。野田の努力の積み重ねがあったからなしたことだろう。たくさんの応援の声は選手たちの大きな力となっただろう。試合会場が二つに分かれる中で足を運び声援を送ってくれたチームの皆に感謝したい。まさに全員一丸となって戦った試合であった。今後茨城大学から一人でも多くの出場者、入賞者ができるよう、より高い意識をもって練習に励んでいきたい。(文責:弓削真理子)

### 出場者

種目	記録	氏名	備考
女子 5000m	16.45.3	野田 春香	第 22 位
女子 10000m	35.15.3	野田 春香	第 14 位
女子 100mH 予選	14.46(+1.4)	生井 美有	
女子 100mH 準決勝	14.57(+0.8)	生井 美有	
女子走高跳	1m73	森 あゆ美	第 6 位
女子ハンマー投げ予選	46m75	二見 有紀乃	
女子ハンマー投げ予選	43m87	弓削 真理子	第 14 位
女子ハンマー投げ決勝	45m49	二見 有紀乃	第 10 位



## 第 23 回国公立 23 大学対校陸上競技大会

(2008/9/26～28 草薙：静岡)

静岡の地で行われた 23 大学対校戦は、今年から東京外国語大学が加わり一層の盛り上がりを見せた大会となりました。この大会に臨む前に、部員全員で集まって「対校戦で総合優勝を成し遂げよう」という今年の目標を確認しました。「この大会で総合優勝するために 1 人 1 人何ができるのか」を考え行動に移すことにより、部の団結も深まり、後に行われ、主催でもあった 5 大学対校戦に向けて良い雰囲気を作ることができたのではないのでしょうか。

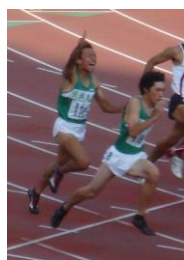
結果として、総合優勝を果たすことは出来ませんでしたが、女子に関しては総合 2 位、トラック 3 位、フィールド 1 位という結果を残すことができました。個々の結果を見ても、上位に入賞した者、専門外の種目で好成績だった者、自己ベストを更新した者などが多数出て、収穫の多い大会となりました。

来年の 23 大学対校戦は、2 年連続で千葉対校が開催されている千葉県総合陸上競技場で行われます。対校戦の主戦力であった 4 年生がいなくなる来季の大会でも、今年同様、欲を言えば今年以上の成績が取められればと思います。

(文責：鈴木麻理)

国公立 23 大学対校陸上競技大会結果(8 位入賞者)

種目	記録	氏名	順位
男子 1500m	4'04"04	岡崎 浩樹	第 3 位
男子 10000m	32'50"33	秋山 陽祐	第 7 位
男子 400mH	54"84	山下 弘文	第 6 位
	54"91	上杉 明弘	第 7 位
男子 3000mSC	9'19"18	岡崎 浩樹	第 3 位
男子 5000mW	25'14"70	小向 瑞樹	第 6 位
男子 4×100mR	42"08	西尾-和田-山本-上杉	第 6 位
男子 4×400mR	3'21"57	山下-上杉-山本-和田	第 7 位
女子 400m	62"33	鈴木麻理	第 8 位
女子 800m	2'21"57	嶋田 絵里子	第 2 位
	2'22"18	石澤 ゆかり	第 4 位
女子 1500m	4'38"69	野田 春香	第 2 位
	4'41"92	笥 千佳	第 6 位
女子 5000m	16'42"82	野田 春香	優勝
	18'17"52	笥 千佳	第 7 位
女子 100mH	15"81(-4.2)	生井 美有	第 5 位
女子 4×100mR	49"11	石崎-生井-鈴木(麻)-森	第 2 着
女子 4×400mR	4'04"06	吉原-鈴木-石澤-嶋田	第 5 位
女子走高跳	1m64	森 あゆ美	第 3 位
	1m45	尾崎 友美	第 6 位
女子三段跳	11m56(+1.0)	遠藤 園子	第 3 位
	11m10(+2.8)	石崎 あゆみ	第 5 位
女子砲丸投	11m43	城所 舞	優勝
	11m02	弓削 真理子	第 2 位
女子円盤投	37m59	二見 有紀乃	優勝
	33m92	城所 舞	第 3 位
女子やり投	36m08	遠藤 園子	第 6 位



## 第 59 回北関東 5 大学対校陸上競技大会（主催）

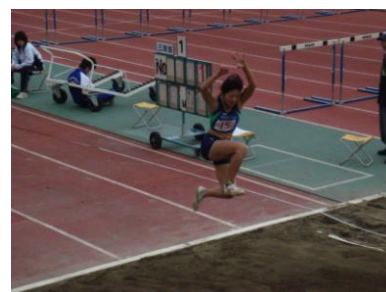
（2008/10/25 笠松：茨城）

主催校ということで、運営の面でも、競技の面でも意識を高く持ち取り組んできました。

部の目標の「対校戦で総合優勝」をより意識をして取り組んでいった結果、女子はトラック、フィールド共に優勝という二年連続の完全総合優勝というすばらしい結果でした。男子はトラックで優勝をし、総合3位という前回より1つ順位を上げることができました。目標を達成できなかったことは、残念ですが全員で目標に向かっていった姿勢はとても価値のあることです。そして、四年生は最後の対校戦ということ、多くのOB、OGの方、陸協、補助員の方のおかげで行えた大会であるということによって、とても思い出深い大会になったと思います。（文責：後藤雅彦）

### 結果（優勝者）

種目	記録	氏名	備考
男子 1500m	4.01.62	秋山 陽祐	
男子 5000m	15.20.06	秋山 陽祐	
男子 3000mSC	9.28.65	岡崎 浩樹	
女子 800m	2.16.28	嶋田絵里子	自己新・大会新
女子 1500m	4.46.79	野田 春香	
女子 100mH	14.36 (+1.2)	生井 美有	
女子三段跳	10m95 (+0.1)	遠藤 園子	
女子砲丸投	11m38	城所 舞	
女子円盤投	34m83	城所 舞	



## 第7回国公立23大学対校駅伝大会

(2008/11/24 昭和記念公園：東京 立川)

今年で7回目となる国公立23大学対校駅伝大会が昭和記念公園にて行われた。今年は大候が心配される中でのスタートであった。レース前半は気温こそ低いものの雨は降らずに済んだのだが、後半になると雨が降り始め、選手にとっては少々走りにくいレースであったかもしれない。

さて、結果を見てみると、男子は総合7位ということで昨年の総合3位から順位を4つ下げてしまったが、一方、女子は総合1位と念願の優勝を飾ることができた。レースについて考察すると、男子については1区の秋山が3位で襷を繋いだものの、徐々に順位を落としていき、最後に新潟大にかわされ7位となった。女子については1区嶋田が3位で襷を繋ぎ、2区3区と1つずつ順位を上げ、アンカー野田が2位の学芸を大きく引き離して1位でのゴールであった。これらを見ると、男子はエースとなる選手は存在しても他の選手が戦力として今一步のところであることがうかがえる。来年は1人1人の走力を向上させることが勝つための課題となるだろう。一方、女子は打倒学芸と明確な目標を持って臨んだことが総合優勝を成し遂げた勝因の1つであると考えられる。来年は4年生が3人抜け、2年石澤と3年鶴見の2人になってしまうので、新たな選手を獲得し、またこの大会に出場して欲しい。(文責：片岡龍治)

### 男子結果 1.57.24 (36.6km) 総合7位

1区	秋山 陽祐 (院1)	31.59 (10.3km)	区間3位
2区	高野 和文 (3年)	9.25 (3.0km)	区間7位
3区	岡崎 浩樹 (4年)	24.20 (7.5km)	区間7位
4区	涌井 遼平 (3年)	17.31 (5.3km)	区間13位
5区	蓮田 大樹 (3年)	16.44 (5.3km)	区間2位
6区	秋庭 寛文 (1年)	17.25 (5.2km)	区間9位

### 女子結果 0.54.18 (15.6km) 総合1位

1区	嶋田絵里子 (4年)	17.44 (5.1km)	区間3位
2区	笥 千佳 (4年)	10.36 (3.0km)	区間2位
3区	石澤ゆかり (2年)	7.40 (2.3km)	区間1位
4区	野田 春香 (4年)	18.18 (5.2km)	区間1位



秋山→高野



岡崎→涌井



ブロック長蓮田→秋庭



優勝☆女子メンバー

### 三浜駅伝

(2008/12/7 ひたちなか)

この大会には、一般男子一部・二部に茨城大学が出場した。先に行われた23大駅伝では7位という結果だけに、この駅伝では勝つという思いで挑んだ。

1区蓮田がトップと17秒差の走りで流れをつくり、2区秋山でトップに立ち、後続を離す快走をみせた。その後、3区和田、4区岡崎、5区涌井とトップを守りながら襷を繋ぐ走りを見せた。最後は、6区秋庭が後続に詰められたが1位でゴール。区間賞は2区秋山のみであるが、チーム全員いい走りができこの結果になったのだろう。

しかし、対校駅伝で戦うには各選手の走力が上がらないとチームとして戦えないだろう。そのため、レベルアップをはからないといけない。(文責：秋庭寛史)

結果 一般男子一部：1位

	1区(6.1 km)	2区(7.5 km)	3区(3.3 km)	4区(6.8 km)	5区(4.5 km)	6区(5.7 km)
茨城大学 A	蓮田大樹	秋山陽祐	和田明久	岡崎浩樹	涌井遼平	秋庭寛史
区間	18:41 (4)	22:34 (1)	10:25 (5)	21:14 (2)	14:41 (2)	18:17 (5)
総合	18:41 (4)	41:15 (1)	51:40 (1)	1:12:54 (1)	1:27:35 (1)	1:45:52 (1)

結果 一般男子二部：4位

	1区(6.1 km)	2区(7.5 km)	3区(3.3 km)	4区(6.8 km)	5区(4.5 km)	6区(5.7 km)
茨城大学 B	河野光由	高野和文	井川勝彦	佐藤伸行	片岡龍治	小向瑞樹
区間	19:33 (5)	24:28 (4)	10:40 (1)	22:37 (5)	15:51 (3)	19:02 (4)
総合	19:33 (5)	42:01 (4)	54:41 (4)	1:17:18 (4)	1:33:09 (4)	1:52:11 (4)



1年次 秋庭・小向



表彰☆茨大A

## 第9回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会

(2008/12/21 荒川河川敷：東京)

12月21日に荒川河川敷で荒川駅伝が開催された。今年は天候に恵まれていて、晴天で風もなく、例年よりあたたかい気温の中で走ることができた。結果は、男子は6位、女子は優勝(2連覇)を果たした。

男子は、1区秋山が10位で襷をつなぐと、2区手倉森が3人を抜いて7位にあがった。そして3区涌井で一旦10位に落ちるが、4区岡崎が1人、5区高野が3人を抜いて6位まで順位を上げた。6区蓮田も最後まで粘って前を追ったが、惜しくも順位を上げられず6位という結果だった。

女子は、1区野田が去年と引き続き区間賞の走りでトップで襷をつなぐと、2区鶴見は体調不良の中にもかかわらず力強い走りでトップをキープ。3区嶋田、4区石澤は中距離でありながらも8kmをトップのまま走りぬき、最後の5区寛は区間賞で優勝を飾った。

男子は昨年よりも順位を大きく落としてしまい、来年は女子も4年生3人が抜けてしまうために出場自体が危うい状況になっているが、今後「男女アベック優勝」の目標を諦めずにまた頑張っていきたい。(文責：石澤ゆかり)

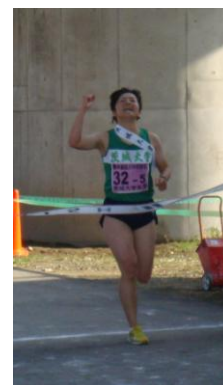
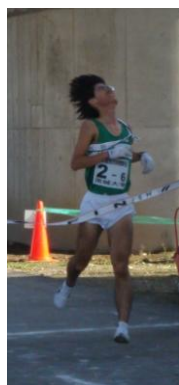
男子6位 2時間16分21秒

	1区 (10km)	2区 (3km)	3区 (8km)	4区 (8km)	5区 (5km)	6区 (8.195km)
	秋山陽祐	手倉森洋人	涌井遼平	岡崎浩樹	高野和文	蓮田大樹
区間	31'58	9'11	26'46	25'35	16'06	26'45

女子1位 2時間05分46秒(大会新)

	1区 (10km)	2区 (3km)	3区 (8km)	4区 (8km)	5区 (5km)
	野田春香	鶴見彩	嶋田絵里子	石澤ゆかり	寛千佳
区間	35'04 ☆	12'56	29'13	30'02	18'31 ☆

☆…区間賞





## 第 57 回勝田全国マラソン

(2009/01/25 ひたちなか)

卒業生のフルマラソン出場が毎年恒例となっている勝田マラソンが 1 月 25 日、ひたちなか市で開催された。今年は進学試験や集中授業の関係により 4 年生全員での出場とはならなかったが、2 名を除いた 10 人と、院生、3 年次以下の中長距離ブロックからも 3 人がフルマラソンに、6 人が 10km の部に出場した。

今年も晴天に恵まれ、風、気温ともに申し分のない条件での開催となった勝田マラソン。4 年生は中長距離ブロックを除けば昨年 10 月の北関東 5 大学以来の、そして全員にとって茨城大学陸上部員として走る最後のレースであるが、日々卒業研究に追われる身でありながらも全員が見事完走を果たした。なかでも昨年 10km の部で 2 位入賞を果たした野田春香(4 年)は初マラソンにして素晴らしいタイムをたたき出し、女子の部の優勝に輝いた。

この長い 42.195km だが、走りながら色々なことを感じ、考えることで、それぞれにとってとても思い出深いレースになったことと思われる。4 年生の健闘をたたえ、これからよりいっそうのご活躍を期待する。(文責：和田明久)

### 勝田マラソン結果

男子マラソン					
氏名	記録	順位	氏名	記録	順位
蓮田大樹(3 年)	2.46.57	85	吉田佑(4 年)	5.15.18	4477
秋庭寛史(1 年)	2.47.54	97	西尾謙次郎(4 年)	5.31.57	4758
佐藤伸行(院 1)	2.53.08	158	渡辺雄馬(4 年)	6.?.?	?
山下弘文(4 年)	4.31.15	3414			
女子マラソン					
野田春香(4 年)	2.42.19	1	石川あい(4 年)	6.?.?	?
寛千佳(4 年)	3.41.10	138	石崎あゆみ(4 年)	6.?.?	?
嶋田絵里子(4 年)	4.11.06	285	高橋友(4 年)	6.?.?	?
男子 10km39 歳以下					
涌井遼平(3 年)	34.11	23	井川勝彦(3 年)	37.00	52
高野和文(3 年)	34.12	24	片岡龍治(2 年)	40.45	128
小向瑞樹(1 年)	36.26	46			
女子 10km39 歳以下					
鶴見彩(3 年)	39.26	12			



4 年生の皆さん、お疲れ様でした！！

ii) その他の主な競技会の結果

茨城県選手権(2008/6/28, 7/4~6) 8位入賞者

日時	種目	記録	氏名	順位等
6/28	女子 10000m	34.29.10	野田 春香	2位
7/4	男子 400m	49.47	開 隆之	3位
	男子 1500m	4.00.83	岡崎 浩樹	3位
	女子 1500m	4.35.17	野田 春香	4位
	女子 4×100mR	48.87	石崎・生井・鈴木(麻)・森	2位
	女子走高跳	1m71	森 あゆ美	1位・大会新
7/5	男子 3000mSC	9.31.29	岡崎 浩樹	1位
		9.56.89	手倉森洋人	7位
	男子 110mH	15.52 (-1.3)	後藤 雅彦	6位
	女子 800m	2.18.89	石澤ゆかり	2位
		2.19.99	嶋田絵里子	7位
女子 100mH	14.79 (-1.1)	生井 美有	3位	
7/6	男子 200m	21.96 (±0.0)	和田 和幸	2位
	男子 800m	1.58.21	河野 光由	4位
	男子 400mH	53.95	上杉 明弘	3位
	男子 4×400mR	3.17.98	開・上杉・山本・和田	2位
	女子 200m	25.57 (+2.6)	鈴木 麻理	4位
	女子 5000m	16.50.09	野田 春香	4位
	女子三段跳	11m14 (+0.1)	石崎あゆみ	3位

その他の競技会 (入賞者のみ掲載)

大会名	日時 (場所)	種目	記録	氏名	順位等
日本学生陸上競技 個人選手権大会	6/6-8 (平塚)	女子ハンマー投	45m03	二見有紀乃	8位
ホクレンディスタンス チャレンジ	7/13 (北海道)	女子 5000m	16.28.82	野田 春香	茨大新
トワイライトゲームス	7/25(代々木)	女子走高跳	1m71	森 あゆ美	4位
第 87 回関東選手権	8/22-24 (笠松)	男子 1500m	3.59.20	岡崎 浩樹	5位
		男子 3000mSC	9.07.37	岡崎 浩樹	2位
		女子 800m	2.17.82	石澤ゆかり	6位
			2.19.55	嶋田絵里子	7位
		女子 5000m	16.49.09	野田 春香	6位
		女子 4×100mR	48.92	石崎・生井・鈴木(麻)・森	4位
		女子走高跳	1m68	森 あゆ美	2位
		女子ハンマー投	48m62	二見有紀乃	1位
43m45	弓削真理子		5位		
レディース陸上競技大会	11/3 (名古屋)	女子ハンマー投	44m80	二見有紀乃	4位
			44m58	弓削真理子	5位

### iii) その他の活動

#### 協力審判員活動について

私たち茨城大学陸上競技部は、競技者として陸上競技大会に出場するだけでなく、協力審判員という形でも陸上競技大会と関わっている。今年度も笠松で行われる大会を中心に多くの競技会で審判員活動を行った。この活動によって、ルール等を再確認できるということはもちろん、1つの大会がどのような流れで進められているのかなども分かる。協力審判員活動を行っている、違った角度から陸上競技大会を見ることができる。このような経験は、ただ競技者として競技を行っているだけではできない。今後も協力審判員活動を通して多くのことを感じ、学ぶことで、競技者としての技術や審判員としての技術を高めていきたいと考えている。そして、日頃お世話になっている陸協の皆さんの手助けが出来るよう努めていきたい。(文責：上杉明弘)

#### ・ 主な審判活動の内容

跳躍審判、投擲審判、監察員、周回記録員、風力計測員、写真判定員、記録員、競技者係、出発係、光波計測員

#### 平成 20 年度審判補助員活動一覧

年月日	大会名
2008.4.12	リレー選手権
5.3	中学記録会
5.31	第 2 回記録会
6.7	中学記録会
6.14	中学記録会
6.22	全国小学生陸上競技交流大会・茨城県選考会茨城県陸上競技記録会
6.28,29	全日本中学通信陸上競技大会
7.4,5,6	茨城県選手権大会
7.13	笠松スポーツフェスティバル陸上記録会
7.20,21	総合体育大会陸上競技大会
8.22,23,24	第 81 回関東陸上競技選手権大会
9.15	中学記録会
9.26,27,28	国公立 23 大学対校陸上競技大会
10.19	第 30 回茨城県小学生陸上競技大会

#### 茨城大・宇都宮大学合同合宿

今年も 12 月 25～27 日にかけて宇都宮大学との合同合宿が行われました。その他にも千葉大学や高校生など、さまざまな学校の選手が集まりました。それによって、いつもの練習よりも活気があふれ、お互いを支え合って練習出来たと思います。そして、練習環境においても競技場だけでなく、砂浜を用いた練習でいつもと違った環境の中で練習することができました。普段は、対校戦などでライバルとしてでしか接せない他校の選手とともに練習することで多くの刺激がもたらされたと思います。また、夜に行われたミーティングでは各大学の練習法や目標などを話し、情報交換することで各々の練習に取り入れたり、また士気を上げるきっかけになりました。

3 日間を通してどのブロックもつらい練習が多かったと思いますが、全員で声を出して支えあって、最後には笑って終わることができたのがとても良かったです。この合宿で得たことをこれからの練習に生かし、来シーズンに結果を残せるように頑張っていきたいと思います。(文責：遠藤園子)

### Ⅲ. 2009 年度シーズンの抱負

#### 主将抱負

主将 後藤雅彦

開拓という言葉を知っていますか？新しいものを開いてゆくという意味です。私の地元の西那須野というところは、開拓によって作られた街です。そのせいか、私は開拓という言葉が好きです。そのようなことから、この茨城大学を開拓してゆくということを私の抱負としたいと思います。

この陸上部は、多くの OB,OG の方が作り上げた歴史の結晶が詰まっています。その結晶の更なる磨き上げをしてゆく事、更なる可能性を導き出すのが私の役目だと考えています。

その可能性を広げてゆくために、部員全員の意識を上げてゆくようにしたいです。大学まで陸上競技を続けること、始めるということは、個人の中に何らかの意識、情熱、哲学があるから行えると思うのです。その競技を行う原点を見つめなおすことが、個人の競技力向上や、更なる楽しみにつながってゆくと思うのです。そして、新しいことを、挑戦していく基盤づくりもしていかななくてはならないと思います。部員の人数が減少傾向にあり、行っていた練習メニューや、部の方針が行えなくなってくる場合があります。常に部員ひとりひとりが、アンテナを張って、こうしたら良い、ああしたら良いという意見を出せる雰囲気作りをしていきたいです。

私が言っている『開拓』ということは容易でないことかもしれません。しかし、できる最大限のことを行ってみなければ、わからないモノがあります。そのモノに近づけるようにしてゆくことが、競技を続けてゆく醍醐味になってゆくと思うのです。

その醍醐味を部員全員で共有できるように、この茨城大学陸上競技部のために最大限努力をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

#### 主務抱負

主務 鈴木麻理

選手の皆さんが競技に集中して臨めるように、円滑な運営を行っていききたいと思っております。そのために、私自身が主務として責任と自覚を持った生活を送るのはもちろんですが、上地先生をはじめ、主将・副務・ブロック長や部員の皆さんと情報交換を密に図ること、コミュニケーションをとることも大切にしていきたいです。

また、今年は千葉対校の主催の年でもあります。千葉対校は、今シーズンの主務の仕事の中で一番大きなものだと感じています。大成功させたいと考えているので、OB・OG の方々のご協力もよろしくお願いいたします。

至らない点も多々あると思っておりますが、1年間しっかり働いていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 短距離ブロックの抱負

短距離ブロック長 和田和幸

今年の短距離の目標は大きく二つあります。①個人種目で決勝に進み勝負する②ケガ人ゼロです。

去年の短距離はリレーがとても印象深かった1年でした。しかし、個人種目の 100,200,400 においてはまだまだ勝負出来ていなく、ハードルパートに押されているのが現状です。ですから、個人種目で決勝に進み勝負する、その為には各個人の記録を向上させる事が重要であると考えています。その事がリレーにおけるレベルアップを図る事ができ、好記録や自己ベストの誕生が本人だけではなく周りにも良い影響を与えられるからです。個人個人のレベルアップに焦点を置きましたが、今までのリレーの持ち味も損なわず、一段階上を目指していきます。ケガ人ゼロは選手が自分の体調と向き合うのももちろんですが、ブロック長がしっかり把握することこの連携が必要だと考えています。シーズンを納得のいくものに、去年果たせなかった課題の一つとしてこのケガ人ゼロの持つ意義は十分大きいと思います。

短距離ブロック長として[森]と[変化]をテーマに今年1年間を全うしていきたいです。個人個人と積極的にコミュニケーションをとり状態を把握し、そして全体を眺めてみる事、また去年までやってきたことに積極的に変化を加えてやっていきたいです。去年と同じにはしたくないです。ありきたりや定番にも疑ってかかります。そうすると今までと違った事が見え、気づき、何か革新が起こるのだと考えています。

10月にバトンタッチを受けてからもう4ヶ月が経つ所です。まだ不安は沢山ありますが、短距離の為にという情熱は燃えています。ブロックの皆と力を合わせて頑張ります。よろしくお願いします。

## 中長距離ブロックの抱負

### 中長距離ブロック長 和田明久

今シーズンの目標は「チーム力」の向上です。現在3年次以下に、結果を残してきた院生や4年次のように強い選手はまだいませんが、メンバー全員が一丸となり、目立たないながらも部全体を支えられるようなチーム作りを目指します。

昨年はシーズン中にメンバーの意識がバラバラになってしまい、対校戦、駅伝ともに現3年次以下、特に現2年次以下は部に具体的な形で、例えば対校戦で点をとるなどで貢献することがなかなかできませんでした。そのため、①昨年に引き続きメンバーの実力の底上げ。②孫子の「彼を知り己を知れば、百戦殆からず」をモットーとして常に自らを省みると同時に、色々な見方を持つこと。の2つを掲げて今シーズンに挑みたいと思います。

中長はきっかけを掴めば変わることのできるチームだと思っていますので、悔いの残らないように取り組んでいきたいと思っています。1年間よろしくお願いします。

## 跳躍ブロックの抱負

### 跳躍ブロック長 渡邊 学

今シーズン、私が跳躍ブロックの皆さんに伝えていきたいことは、たくさんの感覚を得てほしいということです。「ふわぁ」「びゅん」「ずん！」などといった感覚、どんな言葉でもかまいません。どうしてその感覚が生じたのか、どうすればいつも味わえるのか、あるいは避けられるのか。そう考えていくことで練習の質も高まっていくと思います。自分の動きを言葉として具体的に表せる選手はさらに感覚・技術を洗練し、まだまだ発展途中だという選手はどんどん物事を吸収してほしいです。そのためにも、目標を持って積極的に行動していただきたいと思っています。

ブロック長を務めさせていただいてから、充実した練習の日々を送ることができています。なにより、一日、一ヶ月がとても早く過ぎているように感じます。ただ時間の進みに流されず、戦う一人ひとりのメンバーをしっかりサポートできるように、私自身も心身ともに強くなっていけるよう努めていきたいです。

皆さん、今年も楽しくにぎやかに頑張ってください！

## 投擲ブロックの抱負

### 投擲ブロック長 弓削真理子

昨年、10月に前ブロック長から投擲ブロック長を引き継ぎ、自分がブロックをまとめ引っぱっていく立場となりました。まだまだ経験も浅く試行錯誤しながらも、サポートアドバイスいただきながらブロック長を努めております。

投擲ブロックは皆さんもご存知のとおり少人数ですが3姉妹で仲良く楽しさあふれるブロックです。楽しさの中でも、それぞれ競技者としての自覚をもって一生懸命練習に取り組めるメンバーです。前ブロック長の二見さんからよい流れで引き継がせていただいた投擲ブロックを、さらにGreatなブロックにして城所に引き継ぐ日まで1年間頑張っていきたいと思っています。

今シーズン☆さらに投擲ファミリーが増えることを期待しつつ、投擲はどこのブロックよりもYoung&Enjoy&Powerfulな「Y・E・P」スローガンを目標にかかげながら、体格でも結果でも存在感の大きいブロックでいきたいと思っています！

ブロック長として全員が力を発揮できるよう、それぞれを把握しながら全力でサポートしていきたいです。また、自身もブロックを盛り上げていけるような結果をだしていきたいです。投擲の皆さん！トンチンカンでまだまだ頼りないブロック長ですがよろしくお願いします。共に実りある1年にしていきたいと思います！

また執行部の代として、他ブロック長、現2年次で話し合い協力し茨城大学陸上部をさらに盛り上げていけるよう、努めていきたいと思っています。先生、OB・OGの皆様、茨大陸部の皆様、これからも何卒よろしくお願いいたします。

## マネージャーブロックの抱負

### マネージャーブロック長 荻生めぐみ

現在のマネージャーブロックは人数が少なく、今までと同じだけのサポートをすることが難しくなりました。しかし、1人だからできる仕事、全員が揃うからこそできる仕事があると思います。どんな状況でも、選手の皆さんがベストを尽くせるようなサポートをしていきたいです。そのために、私たちが選手一人ひとりのニーズに応えられれば一番よいのですが、細かい点などに気づいてあげられないこともあるかと思っています。そんな時、気軽に意見を言ってもらい、仕事を頼んでもらえるようなマネージャーでありたいです。

1年生でブロック長を引き継いだので不安な面がたくさんありますが、しっかり役割を果たせるように精一杯頑張りたいです。至らぬ点などあるかもしれませんが、これからもマネージャーブロックをよろしくお願いします。

## 中長距離女子パートの抱負

中長女子パート長 石澤ゆかり

昨年度は、中長女子の「チーム力」が一番輝いた年だと思います。特に、23大駅伝で初優勝、荒川駅伝で大会新の優勝といった好成績を残すことができたのは「チーム力」が上がった結果だったと思います。しかし、今年は4年生3人が一気にぬけてしまうので、中長女子は2人だけという厳しい状況になってしまいました。その中でも、2人それぞれができること、明確な目標をしっかりと持って中長女子の存在感をアピールしていきたいです。駅伝はこのままだと出場も危うくなってきてしまいますが、このまま終わらせたくありません。「去年は強かったけど今年は…」なんて言われたくないので、新入生確保も頑張ります。好成績を残していった先輩達を超えて、もっと強豪の中長女子パートを築いていこうと思いますのでよろしくお願いします。

## ハードルパート長の抱負

ハードルパート長 上杉明弘

昨年度は、対校戦などできちんと点数が取れました。短距離ブロック内のハードルパートとしてまとまって活動を始めたことによって意識も高くなり結果に結びついたと思います。活動2年目になる今年は次の3つのようなことを目標にしていきたいと思います。まず、昨年度と同様、試合時にはその試合ごとにハードルパート目標獲得得点を設定して、1点にこだわって競技していくこと。そしてもうひとつは、対校戦で点数を狙うのみならず、ハードル競技者として、好タイムや上位の大会を目指していくこと。最後に、ハードルパートとしてまとまりを持ちお互いを刺激しあいながら練習し成長していくこと。4年生が抜け人数の少なくなってしまったハードルパートですが、少ないからこそできるまとまりとコミュニケーションを大切に、少数精鋭で頑張っていくつもりです。

## 日立ブロックの抱負

日立ブロック長 片岡龍治

水戸からやや離れたところにある日立キャンパス。私たちはそこで活動しています。日立ブロックは水戸のように様々な学部があるわけではなく、工学部のみで構成されています。そのためとても人数が少ないですが、水戸に負けまいように日々頑張っています！

そんな日立ブロックですが、今年度は大半が院生、4年生となり、昨年と比べて全体で練習する機会が少なくなってしまうことが考えられます。日立ブロックは人数が少ないために競技種目も各ブロック1人2人というのが現状です。そんな中でも陸上部としてやっている限り、みんなが茨城大学陸上部の一員なんだという自覚を持ち、まとまっていかなければなりません。今年度はその点について意識し、まとまりのある部活を抱負として掲げたいと思います。

今春からは新たに3名ほど水戸から日立に移ってくるので、今までよりも盛り上げることが期待されます！微力ですがブロック長としてできる限り努めていきたいと思いますので、日立ブロック共々よろしくお願いします。

#### IV. 2009 年度活動予定

2009 年度活動予定

日程	大会名	場所
05/16-17 23-24	第 88 回関東学生陸上競技対校選手権大会（関東インカレ）	国立競技場
06/12-14	全日本学生チャンピオンシップ	平塚（神奈川）
06/	日本陸上競技選手権大会	広島
07/	茨城県陸上競技選手権大会	笠松
08/	国体予選	笠松
08/08	第 44 回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦（主催校）	笠松
08/	第 82 回関東陸上競技選手権大会	千葉
08/	関東甲信越大学体育大会	神奈川
09/04-06	第 78 回日本学生陸上競技対校選手権大会（日本インカレ）	国立競技場
09/19-20	第 20 回関東学生新人陸上競技選手権大会	国立競技場
09/	第 24 回国公立 23 大学対校陸上競技大会	千葉
10/	国民体育大会	新潟
10/10	関東学連秋季オープン競技会	国立競技場
10/	第 60 回北関東五大学対校陸上競技大会	埼玉
10/17	第 86 回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会	昭和記念公園
11/	第 8 回国公立 23 大学対校駅伝大会	昭和記念公園
12/	三浜駅伝	ひたちなか
12/20	第 10 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会	荒川河川敷
12 月末	宇都宮大学合同合宿	笠松
2010/01/	日立駅伝	日立
01/	第 58 回勝田全国マラソン	ひたちなか
03/	春合宿	未定
03/07	第 13 回日本学生ハーフマラソン選手権大会	昭和記念公園
03/	関東学連春季オープン競技会	未定
03/	楮川駅伝	楮川ダム（水戸）

#### V. 卒業・修了生より

佐藤耕二

私は、この陸上部と出会い人生が変わってしまいました。

大学に入学した 6 年前。あの頃私は高校まで違う競技をやっていたので陸上の事はまったく知りませんでした。障害はくぐったりするものだと思っていましたし、ハンマー投げは斧を投げる種目だと思っていました。

でも、入学して 3 日後には入部していました。なんで、そんなに陸上がやりたかったのか今でも良くわかりません。誰かに進められたわけでもないですし。多分、その時の勢いで入部したのだと思います。そのような状況ですから入部当時、一番最初に辞めるのではないかとされていた私ですが、結局私が最後まで残ってしまいました。そして今、就職先で練習場所を確保する事ばかり考えています。（最近新しいスパイクを買って浮かれています。）

もし私が、大学で陸上競技に出会わなかったらどんな生活を送っていて、これからどんな生活を送るのか今では想像すら出来ません。不思議な大学生活でした。

大学院理工学研究科／2006 年度卒／理学部自然機能科学科／混成／10 種 4977 点（歴代 8 位）棒高跳 3m60（歴代 10 位）



## 石川あい

大学4年間を終えようとしている今、言いたい言葉はひとつだけです。本当にありがとうございました。部員のみんなや先生にはたくさん心配や迷惑をかけました。みんなのおかげでここまでずっと続けて来ることができました。私が選手だった期間は、半年程度しかありませんが、高校生の時とは異なる気持ちで向かうことができました。私が陸上を始めたのは高校生からで、その当時は陸上に慣れていくことだけに一生懸命で、毎回レースはがむしゃらに走るだけ、内容なんてほとんど覚えていない状態でした。でも大学では、自分の体・力をしっかりと見つめて練習を積み重ね、レースを振り返って評価して次につなげる大切さを知りました。また、人間は1人では生きていけないものなんだなあ、つくづく感じました。3年生の時の千葉対校のマイルや、ついこの間の勝田マラソン。走りきれたのはみんなの応援があったからでした。自分の力は本当に乏しいもので、でもみんなの気持ちがあれば、力が何倍にもなりました。身を持って感じました。陸上部として走れたことが本当に嬉しかったです。それと、私が日本にいない間、辛いことを乗り越えられたのも、このみんなの力のおかげです、ありがとう。



だめだめな私を支えてくれた、こんな大切な多くの仲間に出会えて本当に私は幸せです。ありがとうございました。  
教育学部保健体育科／短距離／100mH 16.87

## 石崎あゆみ

中学・高校・大学と陸上競技を続けて10年・・・大学での部活動は本当に楽しかった☆ 陸上競技部で過ごした4年間は、競技者としても成長することができ、人間としても大きく成長できた場所でした。またここで出会った仲間たちとの日々の生活が本当に思い出深いです。陸上競技を楽しむ事ができたのは、周りの人たちとの関わりがあったからこそだと思います。共につらい練習を乗り越え、互いに応援し合い、笑いあえる話もたくさんして・・・引退してしまった今、もうあの頃の経験はできないのだと思うとなんだかさみしく、本当に貴重な時間だったのだと感じています。先輩方・同期のみんな・後輩たち、全ての人に「楽しい時間をありがとう」と言いたいです。



運営に携わっている時など部活動が楽しく感じたこともありますが、今思い返すと良い経験をさせてもらえたと感じています。その経験があり今の自分があるのだと思います。上に立つということを経験させてもらえたことによって、競技者としても意識を高く、記録を伸ばすことができたと思っています。高校までの私からみたら、自分が関東大会に出場したり、仲間と共にあと一步で全国まで手が届くという所まで行ったりしたのですから、本当に成長したなと感じます。上地先生、植田先生、小川コーチご指導のもと、競技を続けることができ本当によかったですと思っています。ありがとうございました。

卒業しても茨城大学陸上競技部OGとして、この部が更なる活躍を見せてくれることを祈っています！お世話になりました！！

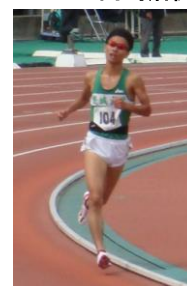
教育学部健康コース／跳躍／三段跳 11m32 (歴代4位), 走幅跳 5m09(歴代7位)

## 岡崎浩樹

この4年間、厳密には3年次、4年次の2年間はとても長かったです。徹底的に痛めつけたり、徹底的に休んだり浮き沈みがとてもはげしい年でした。

ここではまだ日本でまたは世界で活躍する選手が出るのは無理だと思いました。でもそんな環境で、それを目指すのはとても楽しかったです。

自分でやってきたことがチームのためにはならなかった、自分のためにはならなかった。よくある話だと思います。でもそれは今に活きなくても、後のチームに、誰かには大きな影響を与えます。突然ですが、坂本龍馬は様々な偉業を成し遂げましたが、それらはどれも誰かから聞いたこと、誰かはその重要性に気付かず途中で投げ出してしまったことだとか何かに書いてありました。先を見て、それに対する努力をしっかりとした結果だと思います。意味のないことはありません。因みに、龍馬は時代の流れをよみ、それに合わせた行動をしていましたが、剣術の腕前はピカ一だったみたいです。



これから自分はどうするかまだ考えていますが、もしかするとこの陸上部の敵になっているかもしれません。

ひとまず、4年間どうもありがとうございました。

工学部メディア通信工学科／1500m 3.59.20(歴代4位), 3000mSC 9.07.37(歴代1位)



## 茨城大学陸上競技部

### 笥 千佳

今、大学生生活も終わりを告げようとしています。この4年間、生活の中心は陸上であり、とても充実した日々を過ごすことができました。それも、周りの仲間や、ここまで築いて下さった諸先輩方、植田先生、上地先生のご指導があったからこそだと感じています。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

陸上競技との出会いを抜きにしては考えられない今の自分も、先日の勝田マラソンにて部としての活動を終え、初の胴上げを経験しました。どれだけ重くとも、支えてくれた仲間がいたからこそまでやってこられたのだと実感しました。フルマラソンの旅では今の自分と会話をすることができ、大いに苦しみ、改めて練習の大切さを感じました。結果に誤魔化しは効きません。言い訳もできません。どれだけ苦しめたか、努力した分は必ず記録につながる、陸上競技の面白さの一つだと思いました。

4年間の中で唯一涙を流したのが、最後の駅伝でした。毎年優勝まであと一步のところまで及ばず、悔しむことばかりでしたが、仲間の力を借りて勝ったとき、勝手に涙がでてきたのです。言葉にならないほど嬉しく、何度も皆に「ありがとう」という言葉を伝えたくまりました。ゴールテープをきったことも一生の思い出です。何が起こるか分からない駅伝、奥が深く面白いものです。今後、チャンスがあれば「茨城大学」として関東大学女子駅伝にも挑戦するチームになってほしいと思っています。長距離女子選手が集まるのは少ないかもしれませんが、その分も応援したいと思います。

また、今年のこの陸上部には大きな期待をしています。部として大きく成長する一年にしてくれるはずです。このチームなら安心して任せられます。OGとしての立場になりますが、これまで多くの先輩方に支えられてきたことを忘れず、応援していきたいと思っています。

4月からは新たに高校の教員としての生活をスタートさせます。期待と不安に押し潰されそうになっていますが、これまでの思い出を胸に精一杯頑張りたいと思います。陸上部の顧問として、陸上競技の楽しさを伝え、都大路での応援ができれば本望です。応援、宜しくお願い致します。

教育学部健康コース／中長距離／1500m 4.41.92(歴代3位), 3000m 10.07.25(歴代2位), 5000m 17.12.55(歴代2位)



### 嶋田絵里子

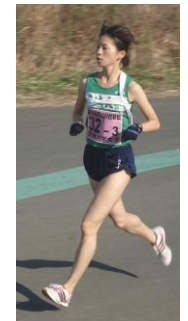
振り返れば4年間走っていました。大学で陸上競技はやらないと決めていた私がこんなにも陸上競技に打ち込み、4年間部活動をやり遂げたことに自分自身が一番驚いています。私が4年間部活動を続け、夢中になれたのは多くの人たちに出会うことができたからです。茨城大学陸上部の仲間・先生はもちろん、他大学の陸上部員、陸協、OBの方々など、人との出会いが自分の考えや視野を広め、陸上競技の楽しさをより感じさせてくれました。陸上競技部に入ってよかったです。

また、大学の陸上競技部はただ走っていればいいというわけにはいきません。高校時と異なり、自分で練習メニューを組み立て、実行し、部活の運営もしなくてはなりません。そういった中で多くのことを学び成長することができたと思います。

大学4年間、すべてが上手くいっていたわけではありませんが、こうして振り返った時に良いことばかりが思い出されるのは、充実した陸上生活が送れた証ではないかと思います。多くの方々に支えられた4年間でした。本当にありがとうございました。

これからは後輩の皆さんの活躍を楽しみに、茨城大学陸上競技部を応援していきたいと思っています。

教育学部健康コース／中長距離／800m 2.16.28(歴代2位), 1500m 4.47.83(歴代5位)



## 4年間を振り返って

### 高橋 友

茨城大学陸上部の部員として過ごした4年間は語り尽せないほどの思い出ばかりです。学科の友達よりも部活のみんなと過ごした時間の方が長いような気がします。マネージャーとして4年間活動してきましたが、マネージャーにしか出来ないこと、感じることで出来ない思い、などがありました。そういったことの積み重ねで、高校までの部活とは違い自分の仕事に責任を持ち、また誇りを持って仕事が出来た、と今なら胸を張って言えます。試合のたびに部員みんなの活躍に感動し、この大学の陸上部のマネージャーでよかったと何度も思っていました。自分のしていた仕事なんて微々たるものでありましたが、試合ではみんなの活躍や自己ベストがまるで自分のことのように喜



んでいる自分に気づき、私は本当にこの部が好きなんだともよく思っていました。

茨城大学の陸上部だからこそ今4年間を振り返ってさまざまな思いがあるんだと思います。たくさんの人に出会って、たくさんの方を教わり、たくさん成長することが出来ました。ステキな先輩や頼もしい後輩達に囲まれて笑顔が耐えない4年間だったような気がします。たまにアホでバカな私でしたが…。4年間でお世話になったすべての方に感謝しております。ありがとうございました。みんな大好きです☆

人文学部人文学科／マネージャー

### ～陸上競技 10 年間～

『位置について、ヨーイ…ピッ』中学校の部活時間、校庭を駆け抜ける陸上部の先輩を羨ましそうに見つめてから、早10年がたちました。楽しいこと、辛いことたくさんありました。

小学校から少し足が速いという理由で陸上を好きになり、中学校で陸上という世界に入りました。そこで上には上がいることを学び、誰よりも速くなりたいという気持ちが強くなりました。しかし、県大会の準決勝で失格と悔しい思いをし、高校では何としてでも上を目指したいという思いが強くなり、関東大会に出場することができました。

大学にいても陸上で上を目指したいという思いでいたかったけれど、気持ちが冷めてしまい、記録もそこまで伸びず、運営面では多くの方に迷惑をかけてしまいました。いつそのこと辞めようかと思った時は多々ありました。しかし、自分のプライドが許してくれませんでした。そんな気持ちでズルズルと3年間引きずって、今卒業生という立場になり、茨城大学陸上部OBでいていいのかという気持ちです。

ただ、この10年という時間で色んな人に出会い、教えあい学んだことはこれから生きていく上での大きな財産となるでしょう。こんな駄目な自分と陸上をともにしてきた、先生方、茨城大学4年次、OB、OG、後輩、そして茨城陸協の方々へ深く感謝を申し上げます。ありがとうございました。

教育学部技術／短距離／100m 11.24, 200m 22.94

中野雅利



### 4 年間を振り返って

大学での4年間の陸上競技は今までやってきた中で一番充実したものでした。これだけ充実できたのは、先輩、後輩関係なく部員全員が仲良く、楽しく、真剣に、刺激しあいながら陸上競技をすることができたからだと思います。

また「行ったらダメになる。」と言われていた日立で3年間充実できたのは、先輩方(特に1つ上の先輩方)が日立の練習環境を良いものにしてくれたからだだと思います。本当にありがとうございました。今またはこれから日立で競技する後輩のみんなはこの良い環境を崩さず、さらに良いものにして、日立から陸上部を引っ張って行ってほしいと思います。

自分はこの4年間で目標を達成することができませんでした。なので陸上競技は続けるつもりです。これからもお互い、目標に向かい、刺激しあい、そして老けないようにがんばりましょう！！もし大会であったときはヨロシク！！4年間ありがとうございました。

工学部機械工学科／短距離／100m 11.17, 200m 22.99

西尾謙次郎



### 4 年間を振り返って

茨城大学陸上競技部での4年間は私にとって多くのものを与えてくれたと思います。四年間で伸びず事の出来た記録と積み上げてきた練習はかけがえのないものであり、自信となっています。四年間、苦しいこと・悩んだこともたくさんありました。その中でいつも実感したのは自分が陸上競技というものにどれだけ支えてこられたかということでした。「走る」ことのない生活は自分にはありえなかったと思います。走るのが好きな気持ちと 強くなりたいというただそれだけの気持ちで挑戦し続けてくることができたと思います。

練習については、「考える」ことが増え、新しいことを取り入れたり、色んな人のアドバイスを受けていたりしながら、自分の体とよく対話しながら取り組む重要性を学び、成長できたと思います。

野田春香



国公立の部活で競技を追い求めるということは、簡単なことではないかもしれません。でも、ここでしか見えなかったものがたくさんあると思えます。後輩のみなさんには、ぜひ色んなことを経験しそこから学び、その先にある世界を見てほしいと思います。

上地先生、植田先生、OB・OBの皆様、部員のみんな、茨城陸協や地域の方、多くの方々の支えがあって競技が出来たことに心から感謝しています。本当にありがとうございました。卒業後は、実業団へ行きます。走れることへの感謝を忘れず、お世話になった方々に恩返しが出来よう頑張りますので、応援よろしく願いいたします。

教育学部スポーツコース／中長距離／1500m 4.33.51(歴代1位)，3000m 9.55.39(歴代1位)，5000m 16.28.82(歴代1位)，10000m 34.29.10(歴代1位)

#### 4年間を振り返って

陸上部に入部した理由は、“ただ陸上をしたい”それだけでした。それ以外は特に期待していませんでした。もちろん楽しく陸上をすることができましたが、この4年間を振り返り、陸上部に入部してよかったと思うことは、仲間との出会い、そして自分自身の成長です。

4年間を振り返ると楽しい思い出ばかりですが、中でも同期の仲間との思い出は格別です。特に、トラックの引退試合として出場した日立記録会は、対校戦とは違った楽しさを感じることができました。出場した4年次は、前日の5大の影響もあり、筋肉痛がひどく、走れる状態ではありませんでした。中には、ハードルを手で倒して失格になるというとても残念な人もいましたが、4年次4人で出場した4継では、奇跡の優勝を果たすことができました。こうやって一緒に楽しめる仲間がいることはすごく幸せなことだと感じました。これからは互いに違う道を進みますが、これからもずっと仲間でありたいし、定期的に会って太りゆく体を互いに慰め合いたいです。

また、主将を務めさせていただいたことで、人として大きく成長できました。苦しいこともたくさんありましたが、仲間とともに苦しみを乗り越え、互いに支えあいながら良いチームを作れたことは、すごく自信になりました。そして、チームのことをすごく考えるようになったため競技観も変わりました。それまでは、個人の結果を強く考えていたため対校戦で入賞することが目標でしたが、主将を務めてからはチームのために何点取れるかが目標になりました。チームの結果をすごく大切にできるようになったので、最後の対校戦となった5大でトラック優勝をすることができたのは最高に嬉しかったです。

こんなにも楽しく過ごすことができたのは、多くの人の支えがあったからです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これからは、OBとして、陰ながら陸上部を応援していきたいと思えます。4年間ありがとうございました。

教育学部保健体育科／短距離・ハードル／400mH 54.08 (歴代6位)，110mH 16.17 (歴代7位)，三段跳 13m18／主将

#### 茨城大学陸上競技部員として

4年間を振り返ると苦しい思い出ばかりがよみがえってきます。練習はもちろん試合中でも気持ち悪くて寝ていたことなんてしょっちゅうでした。関甲信の主催も経験させていただきましたが、暑い夏の日にスーツで駆け回っていたのを覚えています。副務を務めていた時は郵便局の常連さんでした。4年次になって落ち着いたかな・・・と思ったら最後の最後に勝マラが待っていましたね。

しかし勘違いしてほしくないのは、苦しくても決して辛かったわけではないということです。苦しい時にかに頑張れるかが大切だと思うし、そんな時にこそチームメイトとの距離は縮められるような気がします。だから私の4年間は苦しくとも楽しかった日々です。もちろんそう思えさせてくれたのは、茨城大学陸上競技部の皆さんのおかげです。

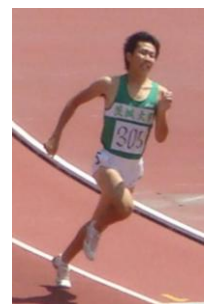
「楽しい」とか「幸せ」を感じるのはきっと一瞬です。ずっと続くものではないです。ですがそんな一瞬のために、好きなことをやり続けられた私はとても幸せでした。そんな幸せをくれた茨城大学陸上競技部に感謝しています。本当にありがとうございました。そしてこれからもよろしく願いいたします。これからはOBとして。

教育学部理科／中長距離／800m 1.56.96(歴代7位)

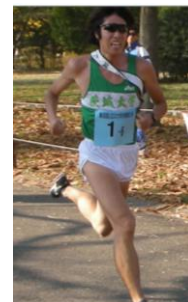
山下弘文



吉田 佑



## 渡辺雄馬



約 10 年間、ほとんど休むことなく走り続けてきました。良い時もあれば、悪い時もありました。中でも茨城大学陸上競技部で過ごした 4 年間は自分にとって特別なものだったと思います。この 4 年間は自分の限界への挑戦であり、自分の心との戦いでした。正直に言いますと、辛く、厳しい 4 年間だったと思っています。

大学では目標を箱根駅伝に設定し、高校時代の仲間達に追いつこうと必死で練習しました。結局は届かなかった夢でしたが、その目標が何も疑わずに陸上に向き合えた時間を作ってくれました。その時間が多くのものを与えてくれたのだと思います。

毎日のようにやった 20km 走、何度も見たダルマの顔、ある時には背中を追いかけ、ある時には我慢比べをやってくれた人、秋になると暴風が吹き荒れる那珂川河川敷、授業の合間に行った笠松や夕暮れの誰もいないサブグラウンド。冬の走り始めのあの匂いやアスファルトの冷たさ。寒さ。布団の誘惑。笠松の試合のスタート直前になるあの音、一瞬の緊張感。春の素晴らしさや夏の暑すぎる暑さ。襷を繋ぐ楽しさ etc...

その時は分からなくても、今思うとかけがえのない時間でした。

上地先生をはじめ、OBOG の皆様、色々な先輩方や仲間達に助けていただき、4 年間で過ごすことができました。これからどのような形で陸上競技に向き合っていくかは、まだ定まっていませんが、何らかの形で関わっていきたいと思っています。

4 年間本当にありがとうございました。茨城大学陸上競技部のさらなる活躍を期待しています。  
教育学部保健体育科／中長距離／10000m 32.09.18(歴代 5 位), 20km 1.03.29(歴代 1 位)

## VI. OB/OG 近況報告・現役部員へのメッセージ

### 青木卓也



卒業おめでとうございます。今年の卒業生は陸上に対して真剣に取り組み、自分の明確な目標や考えを持っていて、後輩ながら勉強になることが多かったです。私自身、一生懸命・必死になるということがあまり出来ていなかったのも、皆さんの本気の姿勢というのが羨ましくもありました。これから社会に出ることになりますが(院進学の人にも言えるかな?)、きっと思い通りにいかない事や理不尽な事で不安やストレスがたまることもあると思います。でも大学時代 4 年間陸上を続け、勝田マラソンを走った(歩いた)皆さんはとても優秀な人間のはずです。自信を持ちポジティブに行動してほしいと思います。(上から目線)

私の近況としまして、配属から 4 カ月で 2 度の異動があり、現在は新規プロジェクトの担当をしております。しかし昨今の世界同時不況の煽りや設計の不具合等を受け計画中止の案が出始め、2 週間後にプロジェクトの存亡が決まります。(2 月 2 日現在)

皆さんがこの文を読む頃には職を失っているかもしれませんが、これからも茨城大学陸上競技部を支援していきたいと思っています。昨年は全くお手伝いをする事が出来なかったのも、今年は都合がつけば是非お手伝いさせて頂き、同期の院生 3 人の最後の勇姿を見たいと思います。

2007 年度卒／工学部機械工学科／短距離／400m 51.41

### 秋山陽祐



平成 19 年度に工学部を卒業した秋山陽祐です。その後茨城大学大学院理工学研究科に進学し、昨年に引き続き歩行補助装置の研究を行っています。陸上の活動としては週末には陸上部の練習に参加するように心がけています。

現役部員へのメッセージということで原稿の依頼を受けたのですが、私自身も茨城大学陸上部の現役部員として活動しているつもりですし、昨年とほとんど変わらない視点から見ているので、客観的に見た茨城大学陸上部というものは私には分かりかねます。なので、月並なことしか言えないのですが、大学生の特権は考えることができることと色々なことに挑戦できる時間があることだと思います。自分で試行錯誤したものは必ず自分のためになりますし、また陸上だけでなく色々なことに挑戦すれば広い視野を持つことができ、それが他のことにつながったりもすると思いますので、柔軟な考えを持って大学生活を送ってほしいと思います。

また、私もあと1年間現役部員の皆さんと関わらせていただき、お互いを高め合えればと思っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

2007年度卒/工学部機械工学科/中長距離/1500m 3.56.42 (歴代1位), 5000m 14.55.65 (歴代1位), 10000m 30.35.03 (歴代1位)

#### 鬼沢美穂

部員のみなさんお久しぶりです。私は今銀行員として窓口係を担当しています。覚えることがたくさんあり日々試行錯誤の毎日です。生活スタイルががらりと変わり、最初の頃はやっていたいけるか不安でしたが、ようやく社会人生活に慣れてきたところです。

卒業してから早いもので一年が経とうとしています、よくマネージャー時代のことを思い出します。我を忘れて応援したり、喜んだり悔しんだり、とても充実した時間をすごしたなと思っています。社会人になると時間が限られ、趣味に没頭したり、やりたいことがあってもできないということがよくあります。時間がある学生のときに、色々なことに挑戦したり、経験したりして充実した日々を過ごしてほしいなと思います。もし、やろうか迷っていることがあったらぜひ挑戦してほしいです。「やらずに後悔するよりやって後悔した方がいい」が私のモットーですが、色々なことに挑戦して学んで様々なことを吸収してほしいと思います。

また、社会人は横のつながりはもちろんですが、それ以上に縦のつながりの方が重要だと思います。学生のときは仲の良い人たちと一緒にいればいいという感じでしたが、社会人はそういうわけにはいきません。そういった意味では先輩、同輩、後輩と様々な人たちと接しているみなさんは貴重な経験をしていると思います。これからも色々な人たちと接し、コミュニケーションをはかってほしいなと思います。これからもみなさんの活躍を陰ながら応援しています。

2007年度卒/教育学部社会情報コース/マネージャー



#### 川瀬大智

皆さんお久しぶりです。いかがお過ごしでしょうか。私は陸上で有名な(しか聞かない)小森コーポレーションでランナーとしてではなく、設計者としてパソコンの前で図面と格闘している毎日です。社会人として働き始めた時は走り始めようなんて全く思っていなかったのですが、パソコン漬けの窮屈な毎日の生活と日々増加傾向にある自分の体重に耐えきれずジョギングを開始し、今ではたまに通勤にもジョギングで行くような習慣が身についてしまいました。走り始めてからしばらくして選手として復帰しようかと何度か考えたことがありましたが、結局出た試合は5大一試合のみ。社会人になってからは、仕事に慣れない中でうまく自分の時間が作れず、練習を継続することができませんでしたが、最近はずいぶん仕事にも慣れてきたので今年はずっと多くの大会に選手として参加しようかなと考えている今日この頃。また今年もいろいろな大会に顔を出すつもりでいますのでよろしくお願いいたします。

今年一年は仕事に疲れた時に試合を見に行くと後輩たちが大会でがんばっている姿に元気をもらえました。皆さんが自己ベストを出した事や、大会でいい結果を残したことを聞くと自分のことのようにうれしく思いますので、これからも私たちOB、OGを元気づけてくれる報告を期待しています。

2007年度卒/工学部知能システム工学科/中長距離/800m 1.59.27, 1500m3.59.65 (歴代5位), 5000m 15.05.06 (歴代4位)



#### 川瀬智美

お久しぶりです。

私は現在、新潟県のとある県立高校で図書館司書として働いています。

教員にはならん、と決めて(先生方すみません…)大学に入ったはずなのに、思いがけず教育の場に携わることとなりました。人生って何が起るかわかりません。

仕事はというと、1年経ってやっと図書館のヌシになりつつあります。司書は各校1人なので、自由なような淋しいような…。やっぱり自由度高めで仕事しています。良く言えば、マイペースに自分の思うように図書館をつくっていく、楽しい仕事です。良く言いすぎ?その分プレッシャーに負けそうです。

社会人になって思うことは、自分の時間が減ったなということでしょうか。学生の頃はあんなに時間があったのに、このギャップ。時間が過ぎるのも、今異常に早いです。



自分自身、もっと色々できたかななんて思うので…

学生のうちに、やりたいこと・やれることをたくさんしてください！！

今していることにも、没頭してください。どんな形であれ、すべて自分のためになるはず！と思います。

もちろん、有意義に過ごした時間もたくさんありました。なんといっても陸上部。楽しい日々でした。同世代の人たちと集まって、真剣なこともくだらないことも、なんやかんやできるって貴重です。真っ只中にいると感じにくいものですが、終わってみるとものすごく実感がわいてきます。そんな“今”を大事に過ごしてくださいね。

HPなどで茨大陸上部の活躍を目にするたび、自分がまだその場にいるかのように、とても喜ばしく思っています。

これからも、遠い雪国より応援しております。

4年生の皆さん、卒業おめでとう！！

2007年度卒／教育学部児童情報コース／マネージャー

## 佐藤伸行

こんにちは。まだまだ、現役部員として参加させてもらっている佐藤伸行です。昨年卒業して、そのまま茨城大学大学院に進学して現在に至ります。

今は研究、授業やその他雑用に追われて忙しく、なかなか全体練習に参加できない状況です。学部時代の練習量に戻そうと努力していますがなかなか実現できておらず、時間の使い方を見直す必要があると強く感じた1年間でした。

現役最後の年は今まで出場したトラック種目でベスト記録を出すという目標をたてたので、現在は実現に向けて練習時間を確保するための方法を模索中な毎日です。

さて、現役部員の皆さんへのメッセージですが、皆さんは自分のブロック内に絶対に負けたくない相手はいますか。私が対外試合で良い記録を出した時の事を思い返してみると、その前には必ず同じブロック仲間と練習で競い合う経験をしていたと思います。自分より実力が上の人でも構わないと思うので、ぜひ絶対に負けたくない相手を見つけて競い合ってください。より良い経験と思い出になると思います。

最後に、一緒に走ってきた仲間、これからも走っていく仲間を大切にしてください。ここでできた人と人との繋がりは、いつまでも続いていく大切な繋がりに必ずなると思います。また、来年の部誌では、修了生として茨城大学陸上競技部で活動した6年間の振り返りたいと思います。それでは、皆さんのこれからの活躍に期待しています。頑張ってください。私もまだまだ負けません。

2007年度卒／工学部都市システム工学科／中長距離／5000m 15.50.61



## YELL

## 鈴木昇平

2008年3月に大学を卒業し、はやくも1年が過ぎようとしています。2月になると雨が降るたび、気候も過ごしやすいものになってきますね。

現在、本格的(?)な陸上競技生活から離れ、名古屋で私立小学校の先生をしています。この季節になると、迫りくるシーズンに向けて期待と不安を持ち、練習に励んでいたことを思い出します。

社会人1年目。学生時代からは信じられないような早朝に起床、朝から晩までしっかり勤務後、時間を見つけてはジムに通いトレーニングに勤しんでいます。日々、生活を送る中、「これは大切なことだ」と、一つ気づいたことがあります。

それは、大学の陸上競技部には大きな可能性があるということです。

自由に使える時間、無料で使える施設、そして与えられる機会。これらは大学生が特権的に多大に持っているものです。もちろん、これらに加えて志を共にする「同士」も、持っている人も少なくないはずですが。

私は上記にあるよう、限られた時間の中で、自分のお金を払い、講習などに申し込むなど機会を得るようにしています。これは楽しくも、同時になかなか労力のかかることです。

私も学生時代には、他大学の環境などを言い訳にしていた最右翼でした。それでも今、茨城大学陸上競技部は大きな可能性を秘めていると考えています。

様々な気持ちを抱いて陸上競技部へ属していると思いますが、すべての部員へ YELL を送ります。

2007年度卒／教育学部保健体育科／跳躍／走高跳 1m95 (歴代3位)



## 高藤清人

こんにちは。茨城大大学院の高藤です。まず近況報告ですが、最近は就職活動をしつつ研究室で実験をし、夕方～夜中に練習をしています。時間のあるときには全体練習に顔を出したりもします。学部生時代に比べ体力は落ちました・・・が、まだまだ気持ちは負けていないつもりなので、学生最後の年である今シーズンも頑張ります!!

卒業生のみなさんへのメッセージですが、まだ社会人でもないし、たいしたことは言えませんが、特に伝えたい事は「自分に自信を持つ」と「人生一度きり」ということです。今の4年生は入学当初からの付き合いですが、一人一人それぞれ人間的に成長したな、と感じる部分があります。なので、堂々と胸を張って、自身を持って下さい。社会にでると生活や人間関係で悩むことがあると思います。そんな時でも自分は乗り越えられる力があると信じて立ち向かえば、必ず解決できると思います。また、人生は一度きりしかありません。自分は何がしたいのか、何が出来るのかしっかり考え、悔いのない人生を送って下さい。それから、皆まだ若いので、いろいろ吸収して更に人として成長して行って下さい。年寄りくさい文章ですが、饒の言葉とします。

それからさ○じさん。5年間本当にお世話になりました。さ○じさんがいるだけで部活が活気づくというか賑やかになる貴重な楽しい先輩でした。ありがとうございました。

最後に現役部員の皆さん、自分達に期待し、応援してくれるOB、OGがたくさんいる事を忘れずに陸上競技を全力で楽しんで戦っていきましょう。

2007年度卒／理学部自然機能科学科／短距離／100m 11.25, 200m 22.95, 400m 51.00／主将



## 沼尻健寿

茨城大学陸上競技部のみなさん、こんにちは。私は茨城県の石岡市で中学校の教員をしています。皆さんの活躍は、ホームページなどから拝見させていただいています。

大学を卒業してから1年が経ちますが、とても昔のことに感じられます。それだけ生活が猛烈な速さで過ぎていったと思います。今はだいぶ生活にも慣れ、少しずつ気持ち的にも余裕が持てるようになってきました。

現在、中学校で予想通り？柔道部の顧問をやっています。柔道は痛い、そして怪我が多い部活。やっぱり部員は少ないです。でも、その分生徒一人ひとりと関わることができて雰囲気はいいですね。今は、柔道が嫌いにならないよう面白おかしくやっています。勝つことも大切ですが、中学校から始める生徒がほとんどなので、まずは楽しくできるように生徒の目線に合わせて指導することを心がけています。みなさんは、なぜ、陸上競技を続けているのですか？地位や名誉の為ですか？きっと大多数の人が楽しいから続けているのではないのでしょうか。幼い頃、走った、跳んだ、投げた時に感じた楽しさが陸上競技の原点だと思います。私は、今、その原点の楽しさを生徒に伝えたいと思っています。初めて感じた楽しさを忘れずに、これから先、生徒には柔道を嫌いにならないで欲しいというのが願いです。それは、陸上部のみなさんにも同じです。辛い時、嫌になった時、なぜ自分は陸上競技を始めたのか考えてみてください。原点の場所に戻るのもいいでしょう。陸上競技を始めた理由を見失わないでください。願わくば、常にそれを頭の片隅に置いて欲しいと思います。競技を続けるにしてもやめるにしても、これまで頑張ってきた陸上競技の楽しさ、嬉しさを忘れないでください。そして、それを後輩や次の世代に伝えていって欲しいと思います。それが、これから皆さんが果たすべき役割だと思います。そのためにも、今を頑張ってください。応援しています。

2007年度卒／教育学部スポーツコース／短距離／100m 10.90（歴代3位）、200m 22.08（歴代5位）、400m 49.34（歴代6位）



## 水澤貴之

皆さんどうもお久しぶりです。私は大学を卒業し、新たな仲間と寮生活をしながら学校で半年間を過ごしました。この半年間の学校生活は、今まで生きてきた中で最も苦しく、最も充実していたものになったと感じています。この世界では、限界というものは存在しないのだと思い知らされました。毎日、毎日、自分で考えていた限界以上の訓練を当たり前のように行っていました。卒業の頃には体はもちろんのこと、気持ちの面で成長を自らが実感できるほどになっていました。体では出来ないと感じても、気持ちで出来ると思うと案外出来るものです。私は、職業上諦めるということは絶対に許されませんが、だからこそ不可能が可能になることがたくさんあるのだと思います。これは、私の職業だけに言えることではないと思います。陸上競技でも同じことが言えると思います。だから、簡単に何



事も諦めないでください。体はきつくても、気持ちだけは前向きに考えてください。そうすれば、必ず力がついてくると  
思います。そして、自分の成長を感じてください。他人と自分を比べるのではなく自分の成長を感じてください。

長くなってしまいましたが、4年生は卒業おめでとうございます。4年間お疲れ様でした。社会人1年目は大変だと思いますが、頑張ってください。アドバイスですが、上司から頼まれた仕事は期限が先でも出来るだけ早く終わらせること、  
そして、人が嫌がる仕事を率先して行うことを心がけて仕事をすると良いと思います。

そして、在校生は学校生活をおもいきり楽しむとともにやるべきことはきちんとやって、勉強に部活に遊びにしっかり  
頑張ってください。

2007年度卒／教育学部健康コース／投擲／やり投 47m



## Ⅶ. 記録集

### 茨城大学記録・男子

種目	氏名	記録(風速)	期日	大会名	会場
100m	杉崎 弘周	10.51(+1.9)	1998/09/11	日本インカレ	国立競技場
200m	杉崎 弘周	21.42(+2.0)	2001/09/02	新潟国体選考会	中条
400m	今村 明彦	48.06	1994/09/09	日本インカレ	国立競技場
800m	今井 英明	1.53.9	1990/04/07	学連競技会	筑波大
1500m	秋山 陽祐	3.56.42	2007/09/15	関東新人	国立競技場
3000m	松下 祐一	8.54.39	1998/04/19	日立記録会	日立
5000m	秋山 陽祐	14.55.65	2007/09/30	国公立 22 大学	緑が丘
10000m	秋山 陽祐	30.35.03	2007/12/22	松戸記録会	松戸
10km	千葉 雅昭	31.20	1982/02/11	勝田マラソン	勝田
20km	渡辺 雄馬	63.29	2006/10/21	箱根駅伝予選会	昭和記念公園
30km	鈴木徳次郎	1.41.12	1974/02/17	青梅マラソン	青梅
ハーフマラソン	秋山 陽祐	1.09.27	2008/05/25	関東インカレ	国立競技場
マラソン	秋山 陽祐	2.24.46	2008/01/27	勝田マラソン	ひたちなか
110mH	中山 雄策	15.30(-1.0)	2003/10/04	国公立 22 大学	長野
400mH	神尾 伸也	52.53	1994/08/23	関東選手権	笠松
3000mSC	岡崎 浩樹	9.07.37	2008/08/24	関東選手権	笠松
4×100mR	成石・杉崎・ 大久保・佐藤	40.75	1996/09/06	日本インカレ	国立競技場
4×200mR	浅井・佐藤・ 大久保・神尾	1.27.38	1995/05/28	リレー選手権	笠松
スウェーデン R	浅井・成石・ 大久保・岡	1.57.44	1996/05/26	リレー選手権	笠松
4×400mR	開・上杉・ 山本・和田	3.14.60	2008/05/25	関東インカレ	国立競技場
4×800mR	中村・飯塚・ 林・神尾	7.54.72	1994/05/29	リレー選手権	笠松
4×1500mR	滝沢・根本・ 千葉・金沢	16.38.8	1981/04/18	リレー選手権	笠松
走高跳	青木 博光	2m00	1985/09/08	関東選手権	小瀬
棒高跳	岡山 進也	4m90	2001/05/26	リレー選手権	笠松
走幅跳	佐藤 良雄	7m09 (?)	1958/07/19	茨城県選手権	土浦
三段跳	吉野 学	14m81(+1.6)	2005/05/13	関東インカレ	国立競技場
砲丸投	海老原大輔	15m02	2005/08/20	関東選手権	敷島
円盤投	渡邊 将司	39m93	2000/08/11	関甲信	敷島
やり投	渡邊 将司	66m94	2000/10/19	国公立 21 大学	小瀬
ハンマー投	海老原大輔	43m26	2002/09/22	北関東五大学	敷島
十種競技	渡邊 将司	6676 点	1999/07/17.18	栃木県選手権	宇都宮

茨城大学記録・女子

種目	氏名	記録(風速)	期日	大会名	会場
100m	柏 佑美	12.22(+1.9)	2001/09/02	国体予選会	笠松
200m	土屋奈津子	25.46(+1.8)	2004/08/26	関甲信	新潟
400m	土屋奈津子	57.03	2005/05/29	筑波大競技会	筑波大
800m	深谷ユリ子	2.14.97	1997/09/22	関東個人選手権	等々力
1500m	野田 春香	4.33.51	2007/09/28	国公立 22 大学	緑が丘
3000m	野田 春香	9.55.39	2008/08/26	関甲信	熊谷
5000m	野田 春香	16.28.82	2008/07/13	ホクレンデ ィスタンス	北海道
10000m	野田 春香	34.29.10	2008/06/28	茨城県選手権	笠松
10km	野田 春香	34.16	2008/01/27	勝田マラソン	ひたちなか
ハーフマラソン	野田 春香	1.15.58	2008/02/10	守谷ハーフ	守谷
マラソン	野田 春香	2.42.19	2009/01/25	勝田マラソン	勝田
100mH	石川ちひろ	14.07(+1.5)	2006/06/10	全日本インカレ	日産スタジアム
400mH	石川ちひろ	61.34	2005/09/18	国公立 22 大学	国立競技場
4×100mR	石崎・生井・ 鈴木・森	48.34	2008/05/17	関東インカレ	国立競技場
4×200mR	黒川・大内・ 長谷川・呉	1.48.72	1994/05/29	リレー選手権	笠松
スウェーデン R	黒川・呉・ 長谷川・柴	2.22.05	1994/05/29	リレー選手権	笠松
4×400mR	佐々木・石川・ 秦・土屋	4.01.53	2003/05/11	関東インカレ	国立競技場
4×800mR	深谷・飯嶋・ 小林・柴	9.42.31	1994/05/29	リレー選手権	笠松
走高跳	森 あゆ美	1m73	2008/08/26	関甲信	熊谷
棒高跳	長久保佳子	3m20	2001/06/29	茨城県選手権	笠松
走幅跳	宮原 直美	5m78(+0.6)	1985/10/06	全日本インカレ	国立
三段跳	住谷 典子	11m84 (±0)	2001/10/13	千葉対校	笠松
砲丸投	城所 舞	11m73	2008/08/22	関東選手権	笠松
円盤投	梅原 由香	45m84	1997/08/23	国体予選	笠松
やり投	高村理恵子	41m77	2000/06/18	北関東五大学	水戸
やり投(旧)	栗原 明子	42m86	1954/05/01	アジア大会	マニラ
ハンマー投	高村理恵子	49m14	2002/06/09	日本選手権	国立競技場
七種競技	斎藤 教子	3671 点	1984/06/23,24	茨城県選手権	笠松

## 2008 年度ランキング

## 男子

種目	順位	氏名	記録
100m	1	山本 悠輔	11.12
	2	和田 和幸	11.18
	3	中野 雅利	11.24
200m	1	和田 和幸	21.96
	2	山本 悠輔	22.71
	3	西尾謙次郎	22.99
400m	1	開 隆之	49.47
	2	山下 弘文	52.13
	3	鈴木 遼	52.38
800m	1	河野 光由	1.58.20
	2	吉田 佑	1.59.09
	3	高野 和文	2.01.23
1500m	1	岡崎 浩樹	3.59.20
	2	秋山 陽祐	4.00.50
	3	蓮田 大樹	4.10.41
5000m	1	秋山 陽祐	15.08.57
	2	岡崎 浩樹	15.24.30
	3	蓮田 大樹	15.36.46
10000m	1	秋山 陽祐	31.54.89
	2	蓮田 大樹	35.40.21
	3	涌井 遼平	35.47.44
5000mW	1	小向 瑞樹	25.14.70
ハーフマラソン	1	秋山 陽祐	1.09.27
マラソン	1	蓮田 大樹	2.46.57
	2	秋庭 寛史	2.47.54
	3	佐藤 伸行	2.53.08
100mH	1	後藤 雅彦	15.35
	2	山下 弘文	16.17
	3	上杉 明弘	16.50
400mH	1	上杉 明弘	53.91
	2	山下 弘文	54.08
	3	渡邊 学	63.57
3000mSC	1	岡崎 浩樹	9.07.37
	2	手倉森洋人	9.40.91
	3	和田 明久	10.15.21
4×100mR	1	西尾・和田・山本・上杉	42.08
	2	後藤・和田・山本・上杉	42.14
	3	小河・和田・山本・上杉	42.82
4×400mR	1	開・上杉・山本・和田	3.14.60
	2	山本・和田・鈴木・上杉	3.20.22
	3	山下・上杉・山本・和田	3.20.27
走高跳	1	吉田 佑	1m65
	2	佐藤 耕二	1m60
	3	堀越 成志	1m60
走幅跳	1	山本 悠輔	6m36
	2	山下 弘文	5m94
	3	渡邊 学	5m71
三段跳	1	山下 弘文	13m18
	2	渡邊 学	12m65
	3	小河 純	11m17
砲丸投	1	山下 弘文	9m02
円盤投	1	佐藤 耕二	27m47
やり投	1	佐藤 耕二	32m64

## 女子

種目	順位	氏名	記録
100m	1	鈴木 麻理	12.67
	2	生井 美有	12.74
	3	森 あゆ美	12.76
200m	1	鈴木 麻理	25.78
	2	吉原さゆり	27.77
400m	1	鈴木 麻理	60.11
	2	吉原さゆり	62.71
	3	石澤ゆかり	63.18
800m	1	嶋田絵里子	2.16.28
	2	石澤ゆかり	2.17.38
	3	笥 千佳	2.22.03
1500m	1	野田 春香	4.35.17
	2	笥 千佳	4.46.60
	3	石澤ゆかり	4.46.78
3000m	1	野田 春香	9.55.39
	2	笥 千佳	10.08.94
	3	嶋田絵里子	10.21.18
5000m	1	野田 春香	16.28.82
	2	笥 千佳	18.17.52
	3	鶴見 彩	18.54.16
10000m	1	野田 春香	34.29.10
ハーフマラソン	1	野田 春香	1.17.53
マラソン	1	野田 春香	2.42.19
100mH	1	生井 美有	14.36
	2	石崎あゆみ	16.23
	3	石川 あい	16.87
4×100mR	1	石崎・生井・鈴木・森	48.34
	2	遠藤・生井・鈴木・森	49.65
	3	石崎・生井・遠藤・森	49.98
4×400mR	1	吉原・鈴木・石澤・嶋田	4.04.06
	2	吉原・鈴木・嶋田・石澤	4.07.25
	3	吉原・石澤・嶋田・鈴木	4.07.73
走高跳	1	森 あゆ美	1m73
	2	尾崎 友美	1m55
走幅跳	1	森 あゆ美	5m24
	2	遠藤 園子	5m14
	3	石崎あゆみ	4m91
三段跳	1	遠藤 園子	11m56
	2	石崎あゆみ	11m29
砲丸投	1	城所 舞	11m73
	2	弓削真理子	11m05
	3	二見有紀乃	9m17
円盤投	1	二見有紀乃	37m59
	2	城所 舞	35m06
	3	荒木 千尋	22m28
やり投	1	遠藤 園子	38m11
	2	城所 舞	31m08
	3	石崎あゆみ	27m68
ハンマー投	1	二見有紀乃	48m62
	2	弓削真理子	45m26
	3	城所 舞	25m95

対校戦順位一覧

順位	男子			女子		
	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド
第 57 回関東甲信越大学体育大会 (男子総合?位・女子総合 3 位)						
1	筑波大	山梨大	筑波大	都留文化大	都留文化大	筑波大
2	山梨大	筑波大	?	筑波大	筑波大	茨城大
3	横浜国立大	横浜国立大	?	茨城大	横浜国立大	都留文化大
第 23 回国公立 23 大学対校陸上競技大会 (男子総合 11 位・女子総合 2 位)						
1	東京学芸大	東京学芸大	東京学芸大	都留文科大	都留文化大	茨城大
2	山梨大	横浜国立大	山梨大	茨城大	横浜国立大	東京学芸大
3	横浜国立大	山梨大	信州大	東京学芸大	茨城大	都留文化大
第 59 回北関東五大学対校陸上競技大会 (男子総合 3 位・女子総合優勝)						
1	群馬大	茨城大	群馬大	茨城大	茨城大	茨城大
2	埼玉大	埼玉大	高崎経済大	宇都宮大	宇都宮大	宇都宮大
3	茨城大	群馬大	埼玉大	埼玉大	埼玉大	埼玉大
第 7 回国公立 23 大学対校駅伝大会 (男子 7 位・女子優勝)						
1	横浜国立大	—	—	茨城大	—	—
2	信州大	—	—	東京学芸大	—	—
3	山梨大	—	—	千葉大	—	—
第 9 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会 (男子 6 位・女子優勝)						
1	防衛大学校	—	—	茨城大	—	—
2	横浜国立大	—	—	千葉大	—	—
3	東京工業大	—	—	?	—	—

## Ⅷ. 部員名簿

学年	氏名	出身校/出身地	ブロック	学部/学科
院2	佐藤 耕二	新城/神奈川	混成	理工院/自然
院1	秋山 陽祐	磐城/福島	中長距離	理工院/機械
院1	佐藤 伸行	太田一/茨城	中長距離	理工院/都市システム
院1	高藤 清人	竹園/茨城	短距離	理工院/自然
4年	石川 あい	下妻第一/茨城	短距離	教育/保健体育
4年	石崎あゆみ	水戸第三/茨城	跳躍	教育/健康
4年	岡崎 浩樹	小松/石川	中長距離	工/メディア
4年	寛 千佳	常葉菊川/ 静岡	中長距離	教育/健康
4年	嶋田絵里子	牛久/茨城	中長距離	教育/健康
4年	高橋 友	酒田東/山形	マネージャー	人文/人文
4年	中野 雅利	東海/茨城	短距離	教育/技術
4年	西尾謙次郎	浜松南/静岡	短距離	工/機械
4年	野田 春香	藤代/茨城	中長距離	教育/スポーツ
4年	山下 弘文	沼田/広島	短距離	教育/保健体育
4年	吉田 佑	龍ヶ崎第一/茨城	中長距離	教育/理科
4年	渡辺 雄馬	水城/茨城	中長距離	教育/保健体育
3年	荒木 千尋	並木/茨城	跳躍	教育/健康
3年	井川 勝彦	大垣東/岐阜	中長距離	工/メディア
3年	小河 純	水戸桜ノ牧/茨城	短距離	教育/理科
3年	尾崎 友美	八王子東/東京	跳躍	工/生体
3年	河野 光由	太田一/茨城	中長距離	工/電気電子
3年	鈴木 辰昇	山形南/山形	短距離	工/情報
3年	鈴木 晴香	浜松市立/静岡	マネージャー	教育/養護教諭
3年	鈴木 遼	鹿沼/栃木	短距離	教育/保健体育
3年	高野 和文	盛岡第三/岩手	中長距離	工/情報
3年	鶴見 彩	藤代/茨城	中長距離	教育/健康

学年	氏名	出身校/出身地	ブロック	学部/学科
3年	手倉森洋人	八戸西/青森	中長距離	工/生体
3年	蓮田 大樹	藤代/茨城	中長距離	教育/保健体育
3年	早坂 菜央	宮城第二女/宮城	マネージャー	教育/健康
3年	二見有紀乃	真岡女子/栃木	投擲	教育/スポーツ
3年	森 あゆ美	茨城キリスト/茨城	跳躍	教育/保健体育
3年	山本 悠輔	下田北/静岡	短距離	教育/保健体育
3年	吉原さゆり	水戸桜ノ牧/茨城	短距離	教育/教育基礎
3年	涌井 遼平	茨城高専/茨城	中長距離	工/機械
2年	石澤ゆかり	鉾田一/茨城	中長距離	教育/社会文化
2年	上杉 明弘	水戸桜ノ牧/茨城	短距離	教育/スポーツ
2年	片岡 龍治	緑岡/茨城	中長距離	工/生体
2年	後藤 雅彦	那須拓陽/栃木	短距離	教育/保健体育
2年	鈴木 麻理	水戸第三/茨城	短距離	教育/スポーツ
2年	生井 美有	聖徳/茨城	短距離	教育/スポーツ
2年	弓削真理子	佐原/千葉	投擲	教育/保健体育
2年	渡邊 学	郡山/福島	跳躍	教育/健康
2年	和田 明久	太田/群馬	中長距離	理/地球環境
2年	和田 和幸	木造/青森	短距離	理/数理
1年	秋庭 寛史	秋田中央/秋田	中長距離	農/資源生物
1年	遠藤 園子	利府/宮城	跳躍	教育/保健体育
1年	荻生めぐみ	呉羽/富山	マネージャー	教育/健康
1年	城所 舞	真岡女子/栃木	投擲	教育/保健体育
1年	小向 瑞樹	久慈/岩手	中長距離	人文/人文
1年	堀越 成志	茨城キリスト/茨城	跳躍	工/機械
1年	松村 俊	緑岡/茨城	短距離	工/電気電子

## 編集後記

おかげさまで、「Perspiration」第3号も無事発刊の運びとなりました。この部誌の発行作業もそうですが、大学の部活では、ただ単に競技だけをやれば良いというものではないということは常日頃強調している点です。競技および部の運営を通して他者とのコミュニケーション、お金の管理、社会のルールなどさまざまなことを学んでいくこともまた、部活の目的の一つです。世界同時不況の中、スポーツを継続することが難しい状況に陥っている人たちも大勢います。そのような人たちが存在するということを忘れず、真摯な姿勢で部活に取り組んでいてもらいたいと思います。

2008年度シーズンを振り返ってみますと、男子では3000mSC（岡崎）、ハーフマラソン（秋山）、1600mRの計3個、女子では1500m～マラソンまでの長距離種目（野田）、走高跳（森）、砲丸投（城所）、400mRの計10個の茨城大学新記録が誕生しました。特に野田は長距離種目全ての記録ホルダーとなりました。また、関東インカレでの二見・弓削のハンマー投ダブル入賞、男子マイル入賞、関東選手権での二見の優勝、岡崎、森の2位入賞、森の日本インカレ・国体での入賞、野田の勝田マラソン優勝など、多くの大会で活躍が見られました。対校戦においては男子の五大トラック優勝、女子の関甲信総合3位、23大学総合2位、五大連覇、23大駅伝・荒川駅伝での優勝など、部全体として一歩前進できた良いシーズンだったと思います。今シーズンも驕ることなく、自分（達）らしい陸上を続けていきましょう。

4月からは渡邊將司先生をお迎えして、コーチの小川先生と合わせ3人体制で出発します。渡邊先生は茨大陸上部OBであり、また、現役時代は混成競技で輝かしい成績を収めています。渡邊先生が加わることでこれまでよりも幅広く、なおかつきめの細かい指導が可能になるものと思われれます。OB・OGの皆様方には、これまで同様ご支援の程よろしくお願い申し上げます。（上地）

## 茨城大学陸上競技部に関するお問い合わせ

陸上競技部に関するご意見・ご質問は、ホームページ内の掲示板、もしくは、顧問の上地までよろしくご願ひいたします。皆様からの情報をお待ちしております。

ホームページ URL

<http://18.pro.tok2.com/~ibadaitandfclub/>

顧問 上地 勝

〒310 - 8512 水戸市文京2 - 1 - 1

茨城大学教育学部

Tel: 029-228-8477（研究室）

Fax: 029-228-8478（体育事務室）

e-mail: [mueji@mx.ibaraki.ac.jp](mailto:mueji@mx.ibaraki.ac.jp)

## 茨苑 AC に関するお問い合わせ

〒310 - 0852 水戸市笠原町 979-16

Tel: 029-244-1036

益子 雄行

茨城大学陸上競技部部誌「Perspiration」第3号

平成21年3月24日発行

編集責任者

生井美有 渡邊 学

発行者 茨城大学陸上競技部